



Simply Better Connections

VP2120

プレゼンマトリックスシームレススイッチャー (クアッドビュー、マルチストリーミング対応) ユーザーマニュアル

本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルは、ATEN International Co., Ltd. が作成した英語版ユーザーマニュアルをもとに、ATEN ジャパン株式会社が機械翻訳をベースに作成したドキュメントです。

日本国内のお客様への便宜を図る目的で公開していますが、用語や表現は機械翻訳による、表記ゆれなどがございます。

本マニュアルには、グローバル共通となる英語版を翻訳したため、日本国内で取り扱いのない製品情報が含まれる場合があります。

製品の取り扱いや仕様などは日本国内の法規に抵触する内容を除き、基本的に英語版ユーザーマニュアルが準拠となります。正確性を要する場合は、本マニュアルは英語版を読む際の補助テキストとしてご利用ください。

なお、内容に不備や誤りなどがございましたら、お手数ですが ATEN ジャパン株式会社までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

適合性に関する宣言

連邦通信委員会(FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION INTERFERENCE STATEMENT)

本製品は、FCC(連邦通信委員会)規則のパート15に準拠したデジタル装置クラスAの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供するためのものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

この機器は、FCC規則のパート15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

FCCによる注意事項

本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

警告

この装置を居住地域で使用すると、電波干渉を引き起こす可能性があります。



HDMI商標に関する宣言

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。

ユーザー情報

オンライン登録

ご購入の製品は、弊社のオンラインサポートセンターに登録をお願いいたします。

インターナショナル	http://eservice.aten.com
-----------	---

電話によるサポート

電話によるサポートをご希望の場合は、次の番号にお問い合わせください。

インターナショナル	886-2-8692-6959
中国	86-400-810-0-810
日本	81-3-5615-5811
韓国	82-2-467-6789
北米	1-888-999-ATEN ext 4988
	1-949-428-1111

ユーザーの皆様へ

製造元は、このマニュアルに記載されているすべての情報・ドキュメント・仕様を、事前の通知なしに変更する場合があります。製造業者は、本契約の内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証を行わず、特定の目的のための商業性または適合性に関するいかなる保証も特に放棄します。このマニュアルに記載されている製造元のソフトウェアは、そのまま販売またはライセンスを受けています。購入後にプログラムに欠陥があることが判明した場合、購入者（メーカー、代理店、または販売店を除く）が、必要なすべてのサービス、修理、およびソフトウェアの欠陥に起因する付随的または派生的損害の全費用を負担します。

このシステムの製造元は、この装置に対して許可されていない変更に起因する無線やTVへの干渉には責任を負いません。このような干渉の訂正は、ユーザーの責任です。

動作前に正しい電圧設定を選択していない場合、製造元はこのシステムの動作において被るいかなる損害に対しても責任を負いません。使用前に電圧設定が正しいか確認してください。

製品情報

ATEN製品に関する情報、また、製品に制限なく接続できる方法については、弊社ウェブサイトアクセスするか、またはATEN販売代理店にお問い合わせください。所在地と電話番号の一覧については、弊社ウェブサイトアクセスして、ご確認ください。

インターナショナル	http://www.aten.com
北米	http://www.aten-usa.com

同梱品

すべてのアイテムが正常に動作しているか確認してください。問題が発生した場合は、購入元にお問い合わせください。

- プレゼンマトリックスシームレススイッチャー(クアッドビュー、マルチストリーミング対応) VP2120 × 1
- IRレシーバー × 1
- IRリモコン × 1
- 電源アダプター × 1
- クイックスタートガイド × 1

目次

適合性に関する宣言	i
ユーザー情報	ii
オンライン登録	ii
電話によるサポート	ii
ユーザーの皆様へ	ii
製品情報	iii
同梱品	iii
目次	iv
本マニュアルについて	viii
マニュアル表記について	ix
第1章 はじめに	1
概要	1
特長	2
優れたAVルーティング	2
いつでもクイックミーティングを開始	2
シームレスなBYOD連携	2
高精細映像を最適な状態で出力	3
セットアップの計画	4
必要な機器	4
オプション機器とアクセサリ	4
第2章 ハードウェアのセットアップ	6
製品各部名称	6
VP2120 フロントパネル	6
VP2120 リアパネル	7
IRリモコン	8
LED表示	9
取付方法	10
ラックへのマウント	10
デスク下へのマウント	11
セットアップ	12

第3章 ローカル操作	14
概要	14
操作に関する考慮事項	14
部屋情報の表示	15
OSD	16
ソースの切り替え	19
表示設定と動作	21
表示モード	21
表示レイアウトの設定	22
ディスプレイのストリーミング出力	27
概要	27
画面キャプチャーの取得	29
ホワイトボード	30
IRリモコンを使用する場合	30
メニュー画面からホワイトボードを呼び出す	31
イベントログの表示	32
フロントパネルのロック	33
システム設定	34
第4章 リモート操作	39
概要	39
VP2120のIPアドレス	39
アカウントタイプと権限	40
サポートされるウェブブラウザ	41
管理者アカウント	42
管理者としてログイン	42
管理者画面	44
設定ビュー	44
プレゼンテーションビュー	45
画面やアプリケーションウィンドウの共有	48
ホワイトボード	51
司会モード	54
コントロールパネル	58
システム設定	64

参加者アカウント.....	74
ウェブインターフェース経由で参加者として会議に参加するには.....	74
第5章 Telnetコマンド.....	77
概要.....	77
Telnet経由でVP2120に接続するには.....	77
コマンド構文.....	78
コマンド一覧.....	79
(引数)ポート番号.....	79
capturescreen.....	80
displaymode.....	81
edid.....	81
golive.....	82
hdcpswitch.....	82
mute.....	83
power.....	84
read.....	84
reboot.....	85
roominfo.....	85
scalemode.....	86
screenshare.....	87
sw.....	88
swmode.....	89
volume.....	90
whiteboard.....	91
第6章 ビデオプレゼンテーション コントロールアプリ.....	92
概要.....	92
システム要件.....	92
アプリのインストール.....	92
iOS版.....	94
メイン画面.....	94
会議への参加.....	97
会議画面.....	101
ホワイトボード.....	106
スマートフォンのコントロールパネル.....	108
ビデオパネル.....	109
ディスプレイに対するソースの切り替え.....	109
ディスプレイの機能と設定.....	110

オーディオパネル	119
VPの詳細設定	120
全般	121
詳細設定	122
OSD通知.....	123
情報.....	124
付録	125
安全にお使いいただくために	125
全般.....	125
ラックへのマウント.....	127
技術サポート	128
インターナショナル	128
北米	128
製品仕様	129

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、VP2120に関する情報や使用方法について説明しており、取り付け・セットアップ・操作の方法について解説します。マニュアルは下記のとおり構成されています。

第1章 はじめに:VP2120を紹介します。その目的、機能、利点、および設置に関する考慮事項について説明します。

第2章 ハードウェアのセットアップ:VP2120本体の各部名称とその機能を紹介しします。また、製品本体を迅速かつ安全にセットアップする方法について説明します。

第3章 ローカル操作:パネルのプッシュボタンとIRリモコンを使用して、VP2120を操作する方法について説明します。

第4章 リモート操作:ウェブインターフェース経由でのオンラインミーティングへの参加やシステム設定などのリモートタスクの詳細について説明します。

第5章 Telnetコマンド:シリアルコントローラーでVP2120を制御するために使用できる機能とTelnetコマンドの詳細を説明します。

第6章 ビデオプレゼンテーションコントロールアプリ:ATENビデオプレゼンテーションコントロールアプリを使ってリモートでシステム設定を行う方法について詳しく説明します。

付録:製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

注意:

- 製品本体や接続機器が破損しないように、必ず、本マニュアルの内容に従ってセットアップや操作を行ってください。
 - このマニュアルのリリース以降に、製品の機能や特長が追加・改良・削除されることで、アップデートされる場合があります。最新のユーザーマニュアルは、<http://www.aten.com/global/en/>でご確認ください。
-

マニュアル表記について

このマニュアルでは、次の規則を使用します。

- [] 入力するキーを示します。例えば[Enter]はEnterキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。
- 1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作してください。
- ◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順ではありません。
- > 矢印は操作の手順を示します。例えば、「スタート」>「実行」は「スタート」メニューを開き、「実行」を選択する操作です。



重要な情報です。

第1章 はじめに

概要

VP2120は、ビデオマトリックススイッチャー、クアッドビュー・マルチストリーミング、オーディオDSP、アイデア共有機能を搭載したコンパクトなプレゼンテーションスイッチャーです。専用のiPhoneまたはAndroidアプリと組み合わせることで、入力ソースのシームレス切替、オンラインでのアイデア共有、モバイルデバイスとのワイヤレス接続が可能です。これにより、短時間の会議、ブレイクアウトセッションを効率的に行えます。ワイヤレスBYODにも対応し、柔軟な利用が可能です。

VP2120は、チームが柔軟に連携できるよう設計されたプレゼンテーションスイッチャーです。スマートフォン用アプリと組み合わせることで、直感的な操作でBYODミーティングを簡単に開始できます。参加者は、自身のデバイスからQRコードまたは部屋コードを使用して会議に参加できます。アプリの自動スキャン機能により、LAN内のVP2120を自動的に検出しログイン可能な部屋を一覧表示できます。VP2120は、最大4人の同時ストリーミングと最大12人のログインに対応しています。内蔵のマルチビューモードでは、複数のソースを1画面に表示でき、ホスト設定またはリモートからのストリーミングソース数に応じてレイアウトが自動調整されます。参加者は任意の入力をフルスクリーン表示したり、Go-Live画面を共有して同期を取ったりできます。オーディオ機能として、内蔵DSPによりリモートマイクの音声を共有可能です。マイク入力とHDMI入力は、HDMIまたはオーディオ出力用にミキシングして出力できます。ホストは音声や映像の権限を管理でき、不要な画面表示や音声入力をコントロールできます。

VP2120は、スマートフォン用アプリと組み合わせて、リアルタイム共有が可能なホワイトボード機能、50MBのストレージを利用したチャットルーム機能、会議内容を録画できるビデオキャプチャー機能を備えています。さらに、RTMP配信に対応しており、FacebookやYouTubeなどの対応サイトを通じてビデオコンテンツを公開できます。これらの機能により、小規模なグループディスカッションを効率的かつ容易に進め、短時間でのチームワーク強化を実現します。

特長

優れたAVルーティング

- 1系統のHDMI入力、2系統のHDMI出力、4系統の双方向ストリーミングに対応（マトリックス表示対応）
- リモート参加者からのストリーミング入力ソースをシームレスに切替可能で、スムーズな意見交換を実現
- スケーラー機能により、入力映像を最適な解像度へ自動調整
- 内蔵オーディオDSPでマイク入力とHDMI入力をミキシングし、HDMIまたはオーディオ出力に出力可能
- HDMIオーディオのディエンベデッドに対応

いつでもクイックミーティングを開始

- ブラウザ操作またはスマートフォン用アプリで、ワイヤレス機器との連携を迅速かつ臨機応変に開始可能
- 複数の方法でミーティングに簡単ログイン
 - オートスキャンを開始し、一覧から部屋番号を選択
 - VP2120のOSDに表示されたQRコードをスキャン
 - 保存済みのQRコードをロード
 - メニュー画面に表示されているIPアドレスと部屋コードを入力

シームレスなBYOD連携

- 複数の操作方法に対応：フロントパネルのボタン、ブラウザ操作、メニュー画面（OSD）、IRリモコン、モバイルアプリ
- ストリーミング入力：最大4系統のコンテンツを同時に表示し、リアルタイムで情報共有を実現
- ストリーミング出力：ログインした参加者は、自身のデバイスからGo-liveコンテンツを表示可能

- マルチビューモード:ディスプレイのレイアウトは、ホストの設定または利用可能なソース数に応じて自動調整
- ホワイトボード:リアルタイムで書き込みができ、意見交換や情報共有に活用可能
- チャットルーム:テキストでのやり取りと情報共有を強化
- ビデオキャプチャー:会議の進行を録画し、後から確認可能
- ファイル共有により、さらなるデータ共有とフォローアップが可能(最大50MBのデータ保存に対応)

高精細映像を最適な状態で出力

- 解像度:1系統のストリーミング入力時は最大1920×1080、4系統同時入力時は最大854×480に対応
- EDIDエキスパート:接続機器に応じて最適なEDID設定を自動選択し、安定した電源投入、高品質な表示、最適な解像度を実現
- HDMI(1080p)、CEC(Consumer Electronics Control)、HDCP 1.4規格に準拠

セットアップの計画

必要な機器

VP2120をセットアップする前に、以下の機器を準備してください。

- 映像ソース機器
 - HDMI出力ポートを搭載したPCなどのソースデバイス 1台

注意:

VP2120は、Mac、またはWindows、Linux、またはUnixベースのPCをサポートしています。

- HDMIケーブル(ソースデバイスとVP2120の接続用) 1本
- 液晶ディスプレイなど
 - HDMI入力ポートを備えた機器(例: HDMIモニター、HDMIテレビ)
1台または2台
 - HDMIケーブル 1本または2本

各接続インターフェースの搭載ポート数については、p.129の製品仕様を参照してください。

オプション機器とアクセサリ

機器

必要に応じて、以下の機器を準備してください。

- マイク 1本
- スピーカー 1台
- RJ-45ケーブル(1本): VP2120をネットワークスイッチに接続し、IP経由のストリーミングやウェブインターフェースへのアクセスを可能にします。
- ワイヤレスデバイス(1~4台): VP2120に接続して、プレゼンテーションの表示や共有に使用します。

アクセサリ

必要に応じて、以下のアクセサリをお求めください(オプション)。

- ラックマウントキット
- デスク下マウントキット

詳細については、p.10「取付方法」を参照してください。

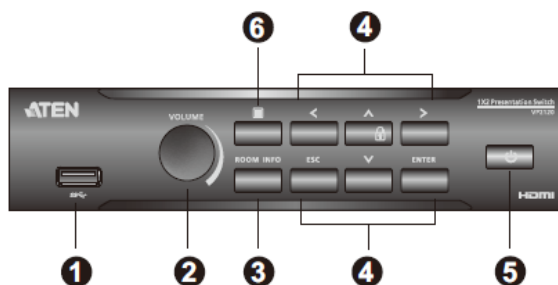
第2章 ハードウェアのセットアップ



1. このデバイスを設置する際は、安全上の注意事項について(p.125)を参照してください。
2. すべての機器のケーブル接続を完了してから、VP2120の電源を入れてください。

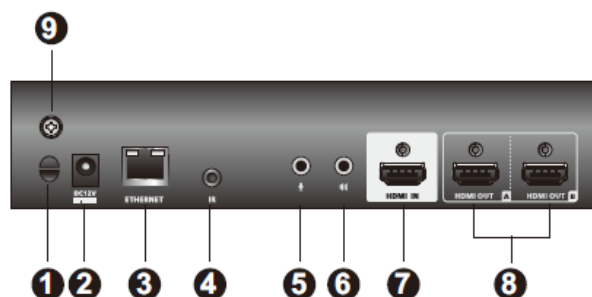
製品各部名称

VP2120 フロントパネル



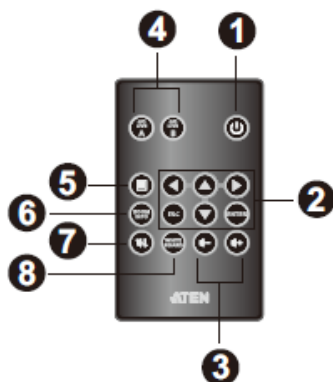
番号	コンポーネント	説明
1	USB 3.0 Type-Aポート	外部ストレージなどのUSB 3.0デバイスを接続します。
2	音量ボリュームノブ	つまみを回すと音量を調整します。また、つまみを押し込むとミュートにします。
3	部屋情報プッシュボタン	このプッシュボタンを押すと、会議にアクセスするための部屋名、リモートアクセス用のIPアドレス、部屋コード、QRコードなどの部屋情報を表示します。
4	ナビゲーションボタン	メニュー画面内での操作ボタンとして使用します。
5	電源プッシュボタン	このボタンを押すと、VP2120の電源をスタンバイからオンにします。
6	メニュープッシュボタン	ディスプレイA出力のみにメニュー画面を表示します。 注意: ディスプレイBには表示できません。

VP2120 リアパネル



番号	コンポーネント	説明
1	ケーブルタイスロット	電源ケーブル固定用のケーブルタイ取付穴です。
2	電源ジャック	電源アダプターを接続し、VP2120に電源を供給します。
3	イーサネットポート	ブラウザ操作でリモート操作を行うために、LANケーブルでネットワークスイッチに接続します。
4	IRレシーバーポート	IRレシーバー(同梱のIRセンサー)に接続して、IRリモコンからIR信号を受信します。
5	マイク入力	マイクに接続します。
6	ステレオオーディオ出力	スピーカーに接続します。
7	HDMI入力ポート	HDMIケーブルでHDMIソースデバイスに接続します。
8	HDMI出力ポート	HDMIポートを搭載したディスプレイデバイスに接続します。
9	グラウンドターミナル	VP2120をアース接続して、サージや静電気による損傷を防止します。

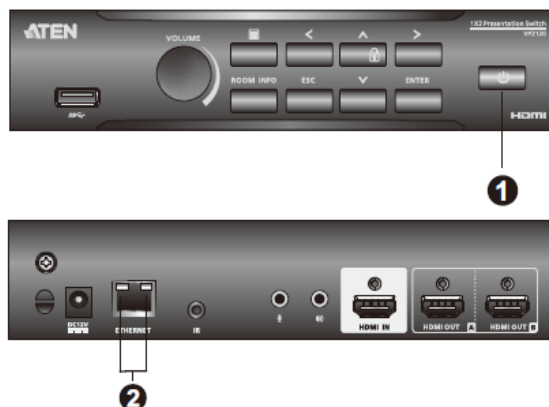
IRリモコン



番号	ボタン	説明
1	オン / オフ	VP2120の電源をオンまたはスタンバイにします。
2	ナビゲーション	メニュー画面で操作し、オプションの選択や解除を行ったり、現在の画面を終了したりできます。
3	音量調節	音量の上げ下げを行います。
4	GoLive	イーサネット経由でストリーミング出力するディスプレイ(ディスプレイAまたはディスプレイB)を選択します。
5	メニュー	ディスプレイAのみにメニュー画面を表示します。 注意: ディスプレイBには表示できません。
6	部屋情報	部屋情報を表示します。
7	ミュート	すべてのディスプレイとスピーカーをミュートにします。
8	ホワイトボード	ディスプレイAにホワイトボードを表示します。 注意: ホワイトボードはディスプレイAにのみ表示できます。

LED表示

製品本体のLEDは下図のように配置されています。LED表示の詳細については、下表を参照してください。



番号	LED	表示	説明
1	電源	緑色点灯	本体電源が オン になっています。
		オレンジ点灯	本体は給電されていますが、 スタンバイ です。
2	ACT (左のLED)	オレンジ点灯	100Mbpsの速度でデータが送信されています。
		緑色点灯	1Gbpsの速度でデータが送信されています。
	リンク (右LED)	緑色点灯	対抗機器とリンクアップしましたが、データは送信されていません。
		緑色点滅	対抗機器とリンクアップし、データ送受信されています。

取付方法

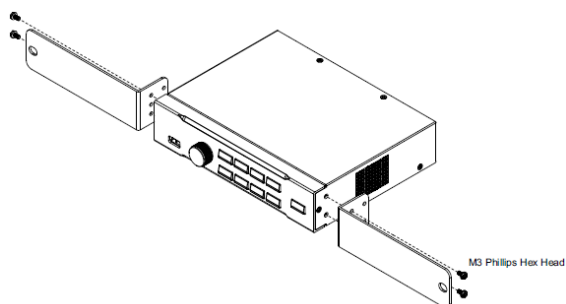
ラックへのマウント

VP2120は、別売りの金具を使用して19インチラックに1Uサイズで取り付けできます。ローカル設定や操作を行いやすくするため、フロントパネルは外側に向けて設置してください。

注意:

ラックマウントキット「2X-049G」は付属していません。購入方法の詳細は製品ウェブページをご確認ください。

1. マウントキットに付属の4本のM3プラス六角ネジを使用して、ラックマウント用ブラケットをVP2120本体に固定します。



2. VP2120本体をラックのフロント側に固定し、ラックのネジ穴とマウント用ブラケットの穴を合わせます。
3. マウント用ブラケットをラック前面にネジで固定します。マウントキットにはケージナットとビスは含まれていません。安全のため、ラックメーカー純正の金具を使用してください。

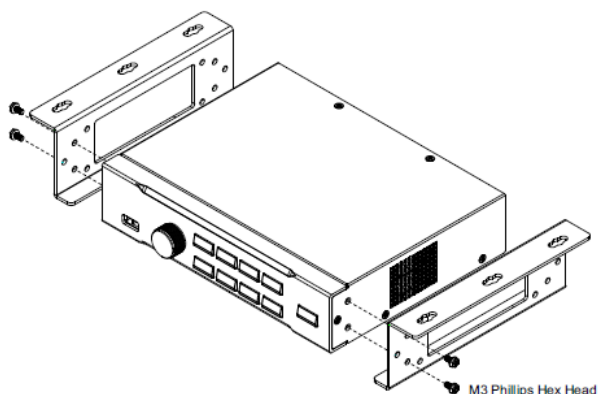
デスク下へのマウント

VP2120は、別売のデスク下マウントキット「2X-044G」を使用してデスクの下に取り付けることもできます。

注意:

ラックマウントキット「2X-044G」は付属していません。購入方法の詳細は製品ウェブページをご確認ください。

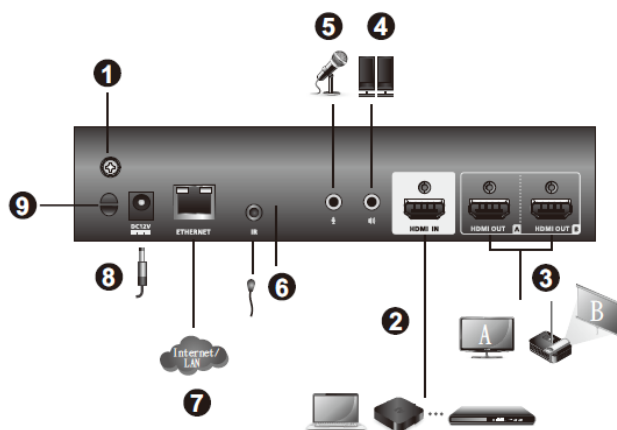
1. マウントキットに付属の4本のM3プラス六角ネジを使用して、マウントブラケットをVP2120本体に固定します。



2. フロントパネルのプッシュボタンを机の下で簡単に操作できる位置にVP2120を配置し、ご自身で用意したネジでブラケットを机に固定します。

セットアップ

以下の手順に従って、VP2120にソース、ディスプレイ、その他の機器を安全な方法でセットアップしてください。



1. 接地線の片方の端をグラウンドターミナルに接続し、もう片方の端を適切な接地物に接続します。

注意:

この手順は省略しないでください。適切に接地を行うことで電圧変化や静電気による機器の誤動作防止や破損防止に一定の効果があります。

2. HDMIケーブルを使って、HDMIソースをVP2120のHDMI入力ポートに接続します。
3. HDMIケーブルを使って、少なくとも1台のHDMI対応ディスプレイをVP2120に接続します。

注意:

メニュー画面はディスプレイAにのみ表示されるため、ディスプレイを1台だけ使用する場合は、ディスプレイをHDMI出力ポートAに接続してください。

4. (オプション) アクティブスピーカーをVP2120のステレオオーディオ出力ポートに接続します。

5. (オプション)マイクをVP2120のマイク入力ポートに接続します。
6. (オプション)IRリモコンでVP2120を操作する場合は、付属のIRレシーバーをVP2120のIR受信ポートに接続します。
7. (オプション)ウェブインターフェースにアクセスできるように、VP2120のイーサネットポートをイーサネットケーブルでネットワークスイッチに接続します。
8. 電源アダプターをVP2120の電源ジャックに差し込みます。
9. (オプション)ケーブルタイを使用して、VP2120のケーブルタイスロットに電源ケーブルを固定します。
10. 電源プッシュボタンを押して、VP2120に電源を入れます。
11. 接続されたすべてのデバイスに対して電源を入れます。

第3章

ローカル操作

概要

この章では、VP2120のメニュー画面の機能と、電源LEDによる電源ステータス表示について説明します。メニュー画面からは次の操作が行えます。

- 表示ソースの切り替え
- 表示動作・解像度・アスペクト比の設定変更
- ネットワーク経由で表示中のコンテンツ(ディスプレイAまたはB)のライブ配信
- VP2120の各種設定
- 画面キャプチャーの取得
- メニュー画面およびブラウザ操作でのユーザーアクションログの表示
- ホワイトボードを使用した参加者とのリアルタイム通信

操作に関する考慮事項

- IRリモコンとVP2120のフロントパネルは同じ操作ができます。必要に応じて、いずれかを使用してください。

注意:

本マニュアルでは「ボタン」はIRリモコンのボタンを、「プッシュボタン」はフロントパネルのボタンを指します。

- IRリモコンは有効範囲(6m)内で使用し、リモコンとVP2120に接続されたIRレシーバーの間に障害物がないことを確認してください。
- スマートフォン用アプリを使用する場合は、モバイルデバイスがVP2120と同じネットワークに接続されていることを確認してください。

部屋情報の表示

部屋コード、リモートアクセス用のIPアドレス、会議に参加するためのQRコードなどの会議情報を表示するには、「部屋情報」プッシュボタン/ボタン()を使用します。



OSD

- メニュー画面を起動するには、「メニュー」プッシュボタン/ボタン () を使用します。OSDメニューはディスプレイAに表示されます。
- メニュー画面を操作するには、ナビゲーションプッシュボタン/ボタンを使用します。
- メニュー画面では以下の設定ができます。



番号	名前/情報	説明
1	接続情報	VP2120のブラウザ操作用IPアドレスと部屋コードを表示します。ブラウザからログインすることで、会議に参加したり、リモートから本体設定を変更したりできます。詳細については、p.39「第4章 リモート操作」を参照してください。
2	 オプション	このアイコンを選択して「ENTER」プッシュボタン/ボタン () を押すと、VP2120の設定を表示または変更できます。

番号	名前/情報	説明
3	画面キャプチャー	このアイコンを選択して「ENTER」プッシュボタン/ボタン()を押すと、VP2120の設定を表示または変更します。 画像は、VP2120のUSBポートに接続したストレージデバイスに保存されます。この機能を使用する前に、必ずストレージデバイスをVP2120に接続してください。詳細については、p.29「画面キャプチャーの取得」を参照してください。
4	通知	この項目に移動し、「ENTER」プッシュボタン/ボタン()を押すとメニュー画面およびブラウザ操作でのユーザー操作記録を表示できます。ユーザー操作には、会議への参加、画面キャプチャーの保存(接続ストレージドライブ)、ストリーミング出力の実行などが含まれます。詳細については、p.32「イベントログの表示」を参照してください。
5	ディスプレイA	ナビゲーションプッシュボタン/ボタンを押して、HDMIソースとストリーミングソースの間で表示ソースを切り替えます。表示ソースの詳細については、p.19「ソースの切り替え」を参照してください。
6	ディスプレイB	ナビゲーションプッシュボタン/ボタンを押して、HDMIソースとストリーミングソースの間で表示ソースを切り替えます。表示ソースの詳細については、p.19「ソースの切り替え」を参照してください。
7	ストリーミングするソース	リモートからストリーミングされた映像ソースが表示されます。このソースが複数ある場合、選択したソースを拡大することができます。
8	全体の音量	VP2120に接続されたスピーカーの音量を設定します。
9	マイク音量	VP2120のマイク入力ポートに接続されたマイクの音量を設定します。
10	GoLive	このアイコンに移動し、「ENTER」プッシュボタン/ボタン()を押すと、ディスプレイにストリーミング出力します。VP2120がネットワークに接続されていない場合、このボタンはグレー表示になります。詳細については、p.27「ディスプレイのストリーミング出力」を参照してください。

番号	名前/情報	説明
11	ホワイトボード	この項目に移動し、「ENTER」プッシュボタン/ボタン()を押すと、ディスプレイAにホワイトボードを表示します。詳細については、p.30「ホワイトボード」を参照してください。
12	日時	システムの日付と時刻を表示します。

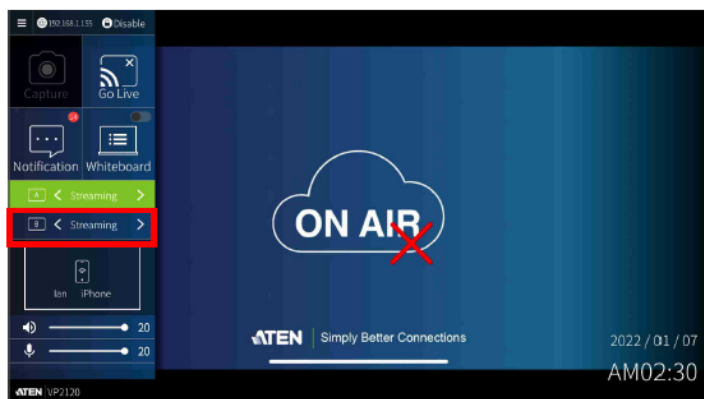
ソースの切り替え

各ディスプレイに対して、HDMIソースとストリーミングされたソースの2つのチャンネルを切り替えることができます。以下の表では2つのチャンネルを比較しています。

OSDソースリスト	説明
HDMIソース	HDMIソースは、VP2120のHDMI入力ポートに接続されたソースです。
ストリーミングソース	ストリーミングソース1〜4は、リモートからアクセスしたユーザーの画面表示です。許可した場合にのみ、VP2120にストリーミングされます。このチャンネルはマルチビューに対応しており、利用可能なソース数に応じて画面上に自動配置されます。詳細については、p.22「表示レイアウトの設定」を参照してください。

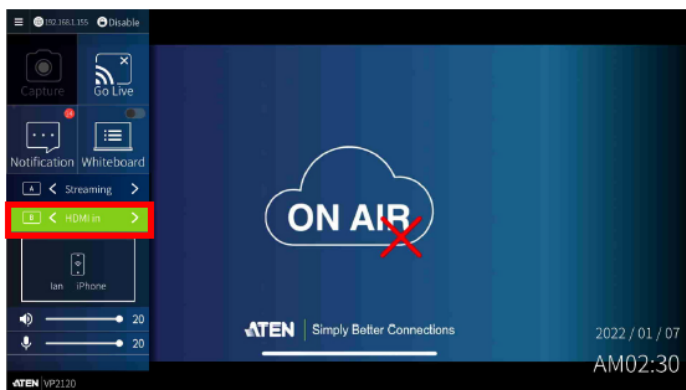
ディスプレイに対するソースの切替操作は、次の手順で行ってください。

1. 「メニュー」プッシュボタン/ボタン()を押して、OSDを開きます。
2. OSDで、**ナビゲーション**プッシュボタン/ボタンを使用して目的のディスプレイを見つけます。



3. 本体プッシュボタン/ボタンを使用して、ソースを選択します。この例では、ディスプレイBがストリーミングされたソースからHDMIに切り替わります。
4. これで、ディスプレイBの表示ソースがストリーミングからHDMIへと正常に

切り替わりました。

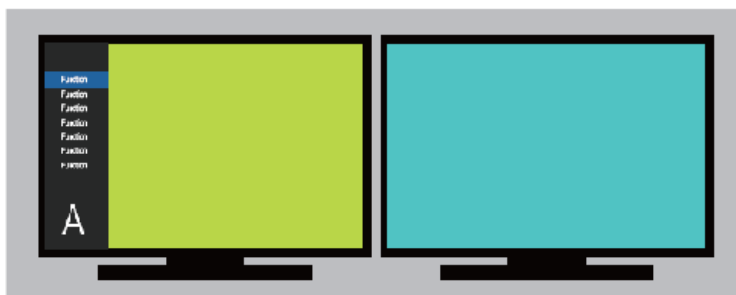


表示設定と動作

表示モード

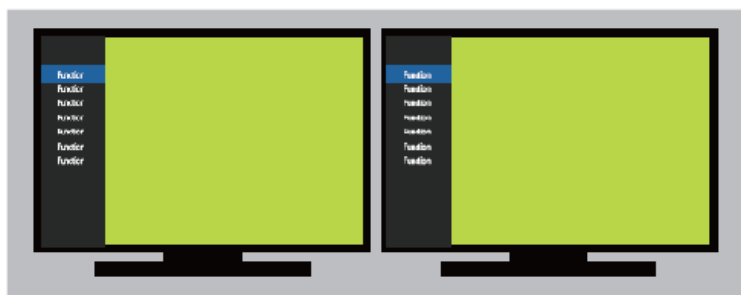
デフォルトでは、VP2120は複数のソースを表示でき、2台のディスプレイはそれぞれ独立した表示設定（解像度、アスペクト比、自動切替モードを含む）を保持します（p.36参照）。

Matrix Display



接続されたディスプレイに同じコンテンツを分配表示する場合は、ミラーモード機能を使用します。ミラーモードを有効にすると、ディスプレイBはディスプレイAに設定されたソースと表示設定に自動的に従います。

Mirror Display



ミラーモードを有効にするには、次の手順で操作してください。

1. ナビゲーションプッシュボタン/ボタンを使用して、「全般」>「ミラーモード」>「有効」に移動します。
2. 「ENTER」プッシュボタン/ボタンを押します。そうすると、ディスプレイBはディスプレイAに割り当てられたソースに即座に切り替わります。

表示レイアウトの設定

VP2120は、ストリーミングソースに対して、自動、シングル、PbP、トリプル、クアッドの表示レイアウトをサポートしています。

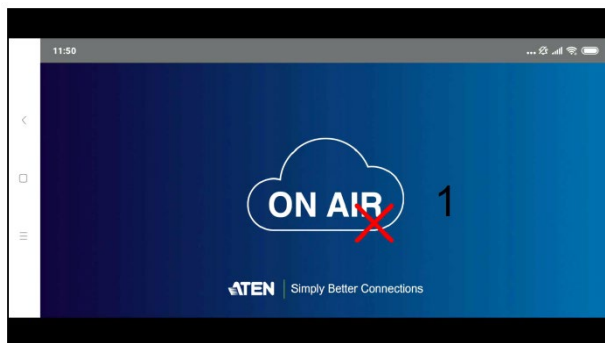
自動表示レイアウト(デフォルト設定)

レイアウト設定が「自動」の場合、ディスプレイが「ストリーミング」に設定され、2～4つのビデオソースがVP2120に共有されると、このモードが自動的に有効になります。

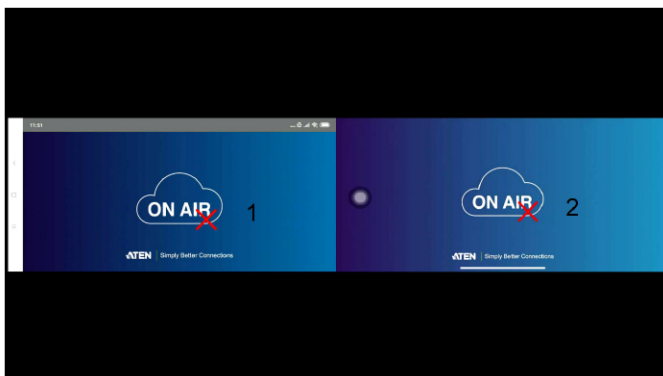
注意:

自動表示レイアウトでは、共有ソースは共有された順序に従い、あらかじめ決められた位置に表示されます。映像データが増えるごとに、ディスプレイ上に左から右、上から下の順に配置されます。

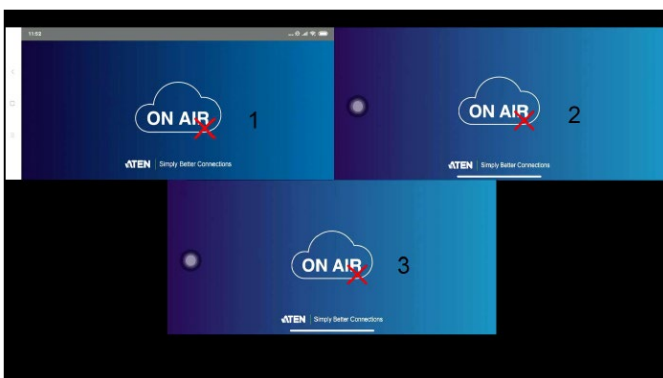
- 1台のソース



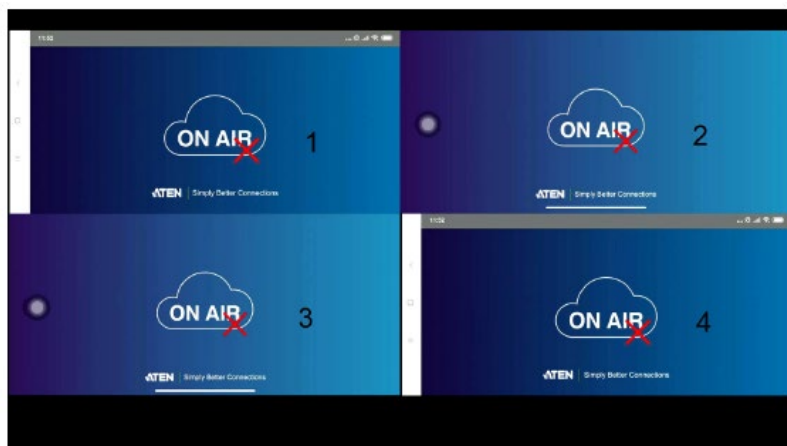
- 2台のソース



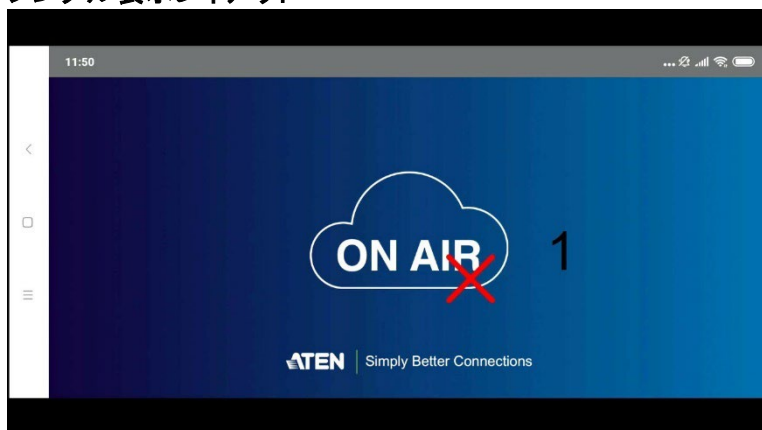
- 3台のソース



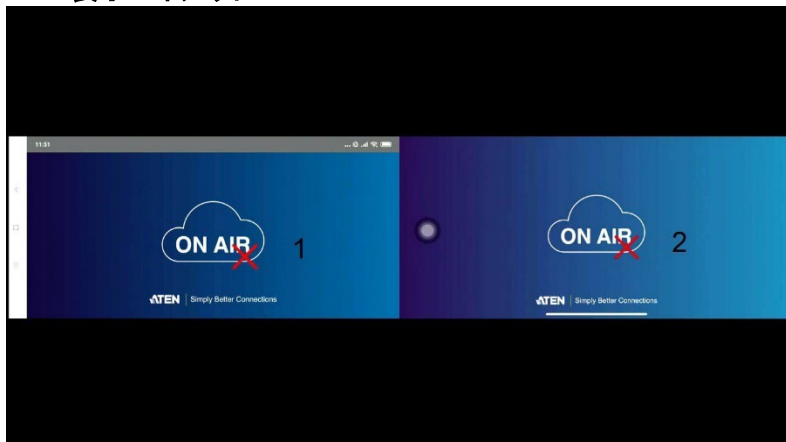
- 4台のソース



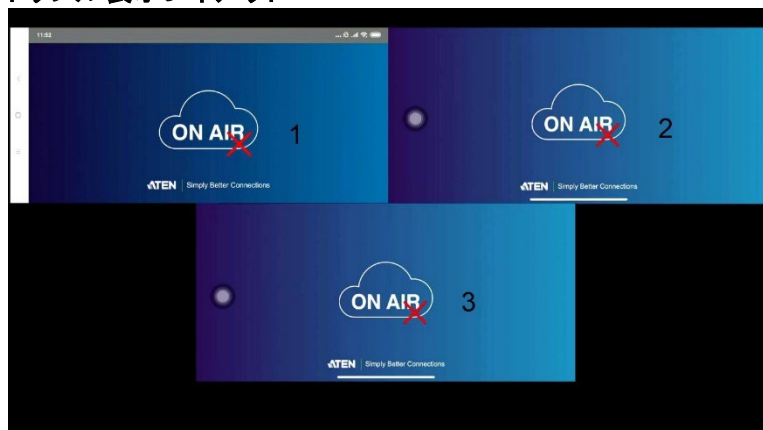
シングル表示レイアウト



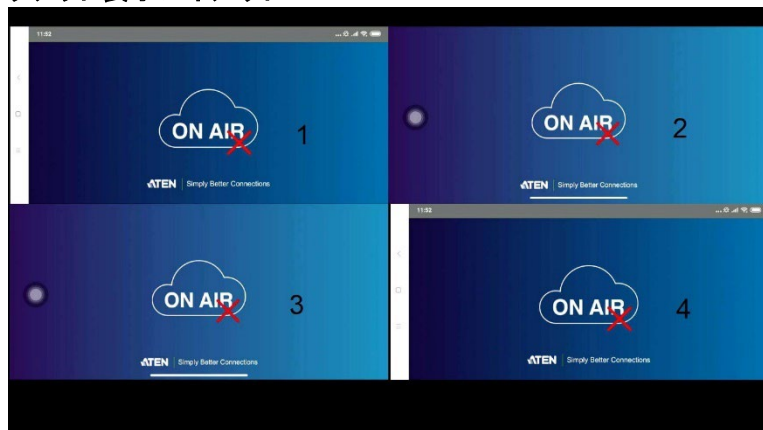
PbP表示レイアウト



トリプル表示レイアウト



クアッド表示レイアウト



ディスプレイのストリーミング出力

概要

VP2120のディスプレイに表示されているコンテンツをリモート参加者に配信する方法は2つあります。1つはIRリモコンを使用する方法、もう1つはフロントパネルのプッシュボタンでメニュー画面を操作する方法です。

注意:

1. VP2120がネットワークに接続されていることを確認してください。ストリーミングを安定して行うには、少なくとも3Mbpsのネットワーク帯域幅が必要です。
 2. RTMPが有効な場合、選択したコンテンツはあらかじめ設定されたストリーミングプラットフォーム(RTMP)に配信されます。詳細はp.66を参照してください。RTMPが無効な場合、選択したコンテンツはVP2120内に配信されます。
-

IRリモコンを使用する場合

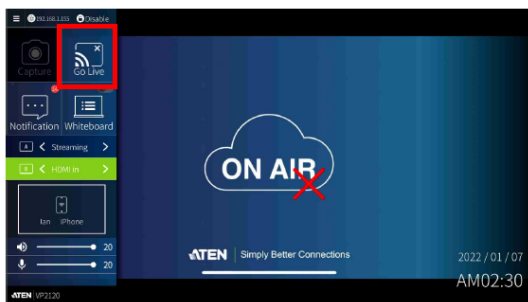
配信を開始するには、 ボタンでディスプレイAまたはディスプレイBを選択してストリーミング出力します。



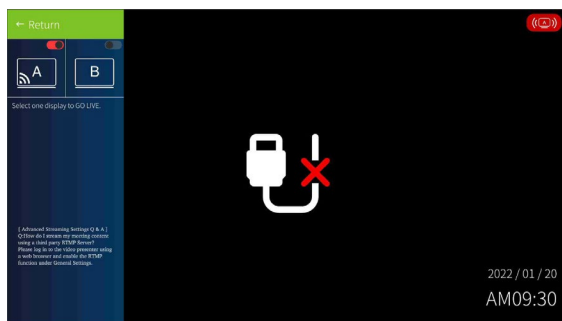
OSDを使用する場合

配信を開始するには、以下の手順に従ってください。

1. 「メニュー」プッシュボタン/ボタン()を押してOSDを開きます。
2. OSDで、ナビゲーションプッシュボタン/ボタンを使用して「Go Live」アイコンを見つけます。



3. 「ENTER」プッシュボタン/ボタン()を押してストリーミング出力するディスプレイを選択したら、「ENTER」()を再度押します。
4. 選択したディスプレイがストリーミング出力されます。このとき、選択したディスプレイの右上に「ライブ」アイコンが表示され、どのディスプレイがストリーミング出力されているかを知らせます。



画面キャプチャーの取得

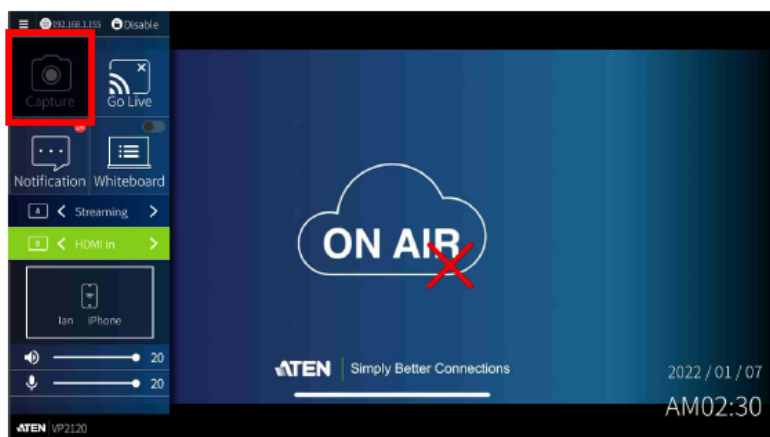
キャプチャー機能を使用すると、会議中の画面を静止画キャプチャーして保存できます。

注意:

VP2120で認識できるように、FAT形式のUSBストレージデバイスをお使いください。

画面をキャプチャーするには、以下の手順に従って操作してください。

1. この機能を利用するために、USBストレージデバイスをVP2120に挿入します。
2. 「メニュー」プッシュボタン/ボタン()を押してメニュー画面を開きます。
3. OSDで、ナビゲーションプッシュボタン/ボタンを使用して「キャプチャー」アイコンを見つけます。
4. 「ENTER」プッシュボタン/ボタン()を押します。そうすると、キャプチャーされた画面がストレージデバイスに保存されます。



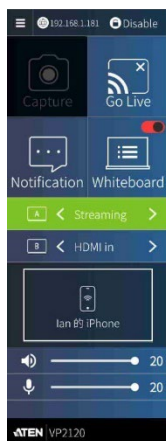
ホワイトボード

ホワイトボードでは、描画、画像の挿入、テキストの作成を行い、すべての参加者と管理者に共有することができます。ホワイトボードはローカルに保存して、後で使用することもできます。

IRリモコンまたはフロントパネルのプッシュボタンを使用してホワイトボードを開きます。

注意:

ホワイトボードはディスプレイAにのみ表示されます。詳細については、p.30「ホワイトボード」を参照してください。



VP2120

IRリモコンを使用する場合

ホワイトボードを起動するには、「ホワイトボード」ボタン()を使用します。ホワイトボードはディスプレイAに表示されます。

メニュー画面からホワイトボードを呼び出す

1. 「メニュー」プッシュボタン/ボタン()を押してメニュー画面(OSD)を開きます。
2. メニュー画面で、ナビゲーションプッシュボタン/ボタンを使用して「ホワイトボード」アイコンを見つけます。
3. 「ENTER」プッシュボタン/ボタン()を押します。

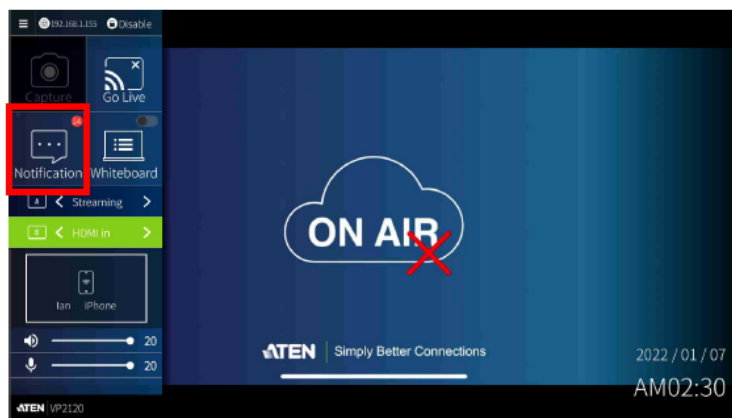


イベントログの表示

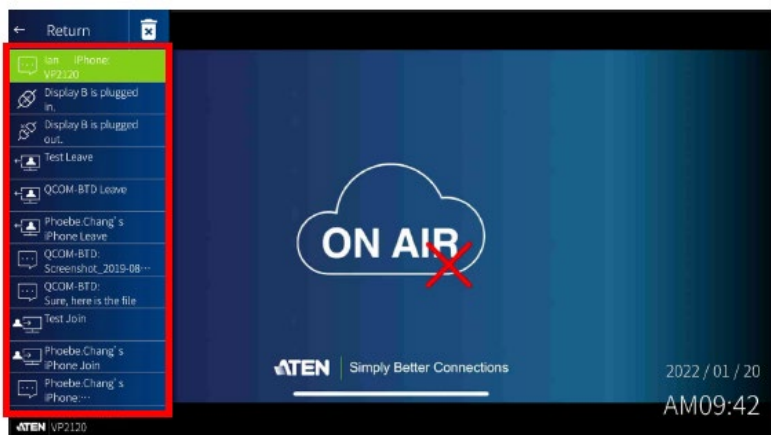
VP2120は、メニュー画面およびブラウザ操作で行われたユーザー操作をログに記録します。ログには、会議への参加、接続ストレージデバイスへの画面キャプチャー保存、画面のライブ配信などの操作記録が含まれます。

これらのイベントを表示するには、以下の手順に従ってください。

1. 「メニュー」プッシュボタン/ボタン()を押してメニュー画面を開きます。
2. メニュー画面で、ナビゲーションプッシュボタン/ボタンを使用して「通知」アイコンを見つけたら、「ENTER」プッシュボタン/ボタン()を押します。



3. イベントログがメニュー画面に表示されたら、  アイコンを押してイベントログを削除します。



フロントパネルのロック

本体フロントパネルのプッシュボタンをいたずらや事故防止目的でロックするには、「ロック」アイコン()が赤く点灯するまで、**上方向**のプッシュボタンを5秒間押し続けます。ロックを解除するには、「ロック」アイコン()が消灯するまで、**上方向**のプッシュボタンを5秒間押し続けます。

システム設定

システム設定にアクセスするには、次の手順に従って操作してください。

1. 「メニュー」プッシュボタン/ボタン()を押して、ディスプレイAでOSDを起動します。
2. OSDで、  を選択して「ENTER」プッシュボタン/ボタン()を押すと、このような画面が表示されます。



3. 必要に応じてシステム設定を行います。詳細については、下表を参照してください。

システム設定			説明
注意: 太字表記はデフォルト設定です。			
全般	部屋コード	- 無効 - コードを更新	有効時は、会議室ログイン用のランダムな部屋コードを生成します。
	ミラーモード	- 有効 無効	このモードを有効にすると、2台のディスプレイには同じ画面が分配表示されます。ディスプレイごとに個別の設定はできません。設定有効にすると、ディスプレイAの設定が自動でディスプレイBに適用されます。詳細は、p.21「表示モード」を参照してください。
	パネルのロック	無効 5秒後 30秒後 5分後	メニュー画面が無操作状態のまま、指定した時間が経過すると、フロントパネルのプッシュボタンが自動的にロックされます。
	言語の選択		メニュー画面の表示言語を設定します。

システム設定			説明
注意: 太字で表記されているのはデフォルト設定です。			
詳細設定	EDIDモード	• ATENデフォルト • ディスプレイA	• ATENデフォルト:このモードでは、接続されたソースに対して ATENプリセットのEDIDが送信されます。 • ディスプレイA:このモードでは、接続されたソースに対してディスプレイAのEDIDを送信します。
	HDCPモード	• HDCPなし • HDCP	この機能を有効にすると、HDCP(著作権保護機能)が動作し、オーディオおよびビデオの不正コピーを防止します。
オーディオ	全体音量	• 増加(+) • 減少(-) • ミュート	VP2120に接続されたスピーカーの音量を設定します。
	マイク音量	• 増加(+) • 減少(-) • ミュート	出力レベルを調整することで、VP2120に接続されたマイクの音量を設定します。
	ストリーミング音量	• 増加(+) • 減少(-) • ミュート	ストリーミングされたソースの音量を設定します。
	メディア音量	• 増加(+) • 減少(-) • ミュート	接続されたソースの音量を設定します。
	マイク→ライン出力	• 有効 • 無効	マイク→ライン出力機能を有効にします。

システム設定			説明
注意: 太字で表記されているのはデフォルト設定です。			
ディスプレイA	チャンネル	- HDMI - ストリーミング	ディスプレイAのHDMIとストリーミングの間でソースを切り替えます。詳細は、p.19「ソースの切り替え」を参照してください。
	解像度		ディスプレイAの解像度とリフレッシュレートの設定を選択します。この項目は、ディスプレイがVP2120Iに接続されている場合にのみ利用可能です。
	アスペクト比	全体に合わせる - 自動調整 - 自動カット	全体に合わせる: ディスプレイの四辺にぴったり合うようにビデオを拡大します。 自動調整: コンテンツを切り取ることなく、ビデオをディスプレイに合わせて比例的に拡大・縮小します。これにより、画面の上下または左右に空白が残る場合があります。 自動カット: ビデオをディスプレイいっぱいに合わせて比例的に拡大・縮小します。表示範囲外のコンテンツは切り捨てられます。
	自動切替	- 有効 無効	新たに検出されたソースに自動的に切り替えます。

システム設定			説明
注意:太字で表記されているのはデフォルト設定です。			
ディスプレイB	チャンネル	- HDMI - ストリーミング	ディスプレイBのHDMIとストリーミングの間でソースを切り替えます。詳細は、p.19を参照してください。
	解像度		ディスプレイBの解像度とリフレッシュレートの設定を選択します。この項目は、ディスプレイがVP2120Iに接続されている場合にのみ利用可能です。
	アスペクト比	- 全体に合わせる - 自動調整 - 自動カット	- 全体に合わせる:ディスプレイの四辺にぴったり合うようにビデオを拡大します。 - 自動調整:コンテンツを切り取ることなく、ビデオをディスプレイに合わせて比例的に拡大・縮小します。これにより、画面の上下または左右に空白が残る場合があります。 - 自動カット:ビデオをディスプレイいっぱいに合わせて比例的に拡大・縮小します。表示範囲外のコンテンツは切り捨てられます。
	自動切替	- 有効 - 無効	新たに検出されたソースに自動的に切り替えます。
通知	時刻の表示	3秒 5秒 10秒 - 無効	OSDで通知メッセージのポップアップ時間を設定するか、この機能自体を無効にします。
	ウェブイベント	- 無効 - 有効	ブラウザ操作で行われた内容に関する通知を表示します。
	システムイベント	- 無効 - 有効	システムの状態、デバイス接続の状態、およびメニュー画面で行われた操作に関する通知を表示します。

システム設定		説明
注意:太字で表記されているのはデフォルト設定です。		
メンテナンス	FWアップグレード	VP2120のシステムファームウェアをアップグレードします。 注意: ファームウェアファイルをUSBドライブに保存し、アップグレード前にVP2120に接続してください。
	デフォルトへのリセット	VP2120をデフォルト設定に戻します。
情報	ベンダー、ファームウェアバージョン、シリアル番号、ハードウェアバージョン、ビルドバージョン	システム情報を表示します。

第4章

リモート操作

概要

この章では、VP2120のリモート操作（ブラウザ操作とスマートフォン用アプリ）について説明します。内容は、アカウントの種類と操作方法（ブラウザ操作またはスマートフォン用アプリ）に基づいて構成されています。

VP2120のIPアドレス

お使いのネットワークスイッチがDHCPをサポートしていない場合で、VP2120を初めてネットワークに接続すると、DHCPサーバーへの問合せした60秒後に、デフォルトのIPアドレスが使用できます。手動でIPアドレスを設定した場合、この待機時間は短縮できます。

- デフォルトのIPアドレスおよびその他のネットワーク設定は以下のとおりです。

ネットワークパラメーター	設定
IPアドレス	192.168.0.60
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
HTTPポート	80

- VP2120のIPアドレスを調べるには、リモコンのボタンまたはフロントパネルのプッシュボタン()を押してOSDを起動します。そうすると、IPアドレスがメニュー画面に表示されます。詳細については、p.16を参照してください。



アカウントタイプと権限

ブラウザ操作には管理者と参加者の両方がログインできますが、スマートフォンアプリにログインできるのは参加者のみです。管理者アカウントはVP2120のシステム設定にアクセスできる点で、参加者アカウントと異なります。

権限	管理者	参加者
オンライン会議への参加とコンテンツ共有	✓	✓
VP2120の基本設定	✓	✓
管理者設定	✓	×
VP2120の設定のバックアップおよびリストア	✓	×
ログインの最大数	制限なし	4
操作インターフェース	ウェブインターフェース	- ウェブインターフェース - ATENビデオプレゼンテーションコントロールアプリ

注意:

同時ログインの最大数は、ブラウザ操作とスマートフォン用アプリ合計でのカウントとなります。

サポートされるウェブブラウザ

VP2120のウェブUIへのアクセスには、以下のウェブブラウザとOSの使用がサポートされています。

ウェブブラウザ	対応バージョン	OS
Chrome	64.0.3282.168	Windows 10
	60.0.3112.113	Windows 10
	64.0.3282.167	Ubuntu 16.04
	60.0.3112.78	Ubuntu 16.04
Firefox	58.0.2	Windows 10
	54.0.1	Windows 10
	58.0.2	CentOS 7.0
	52.4.0	CentOS 7.0

注意:

ストリーミング機能(共有ボタン)は、互換性の問題によりFirefoxでは使用できません。リモートからVP2120経由でコンテンツを共有する場合は、Chromeをご利用ください。

管理者アカウント

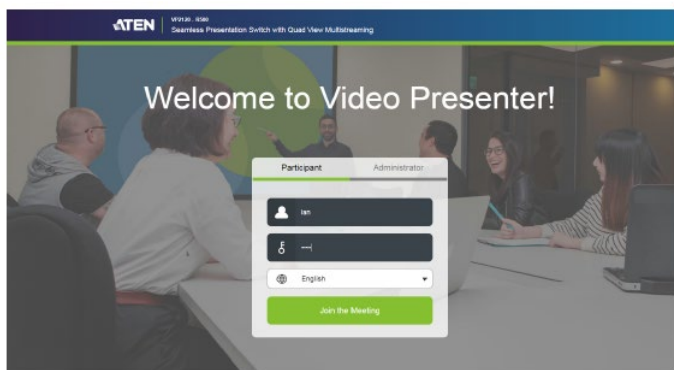
VP2120のブラウザ操作に管理者としてログインすると、会議へ参加できるほか、VP2120の設定ができます。

管理者としてログイン

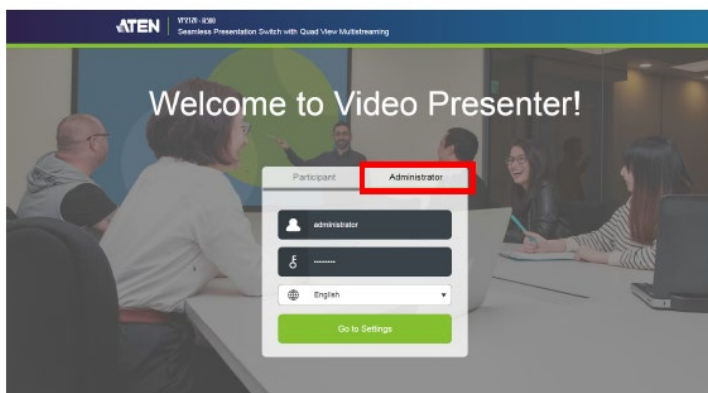
1. ウェブブラウザでVP2120のIPアドレスを入力します。次の画面が表示されます。

注意:

VP2120のIPアドレスはメニュー画面で確認できます。詳細は、p.39「VP2120のIPアドレス」を参照してください。



2. 「管理者」タブをクリックします。そうすると、次のような画面が表示されます。



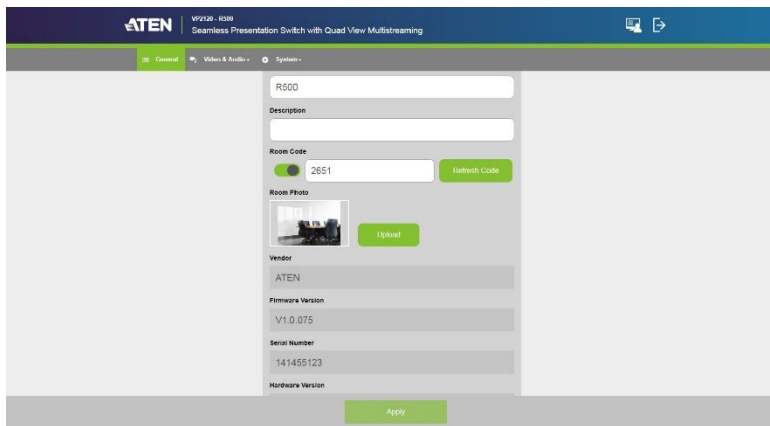
3. 管理者のユーザーネームとパスワードを入力します。

デフォルトのユーザーネームは「**administrator**」、パスワードは「**password**」です。

注意:

ATENは初回ログイン時にパスワードの変更を推奨しています。パスワードを変更するには、ウェブインターフェースの「全般」>「パスワードの変更」に移動します。

4. 「設定に移動」をクリックします。そうすると、メイン画面が表示されます。



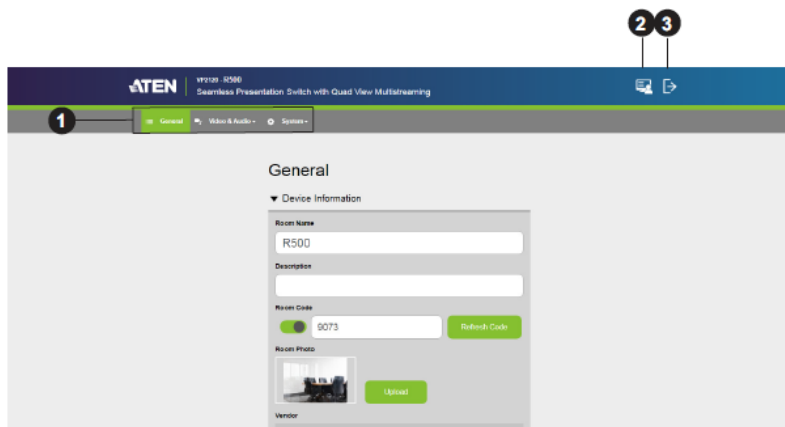
The screenshot shows the ATEN Virtual Room configuration interface. The header bar is dark blue with the ATEN logo and the text "Virtual Room Seamless Presentation Switch with Quad View Multistreaming". Below the header, there is a navigation menu with tabs: "General", "Video & Audio", and "System". The "General" tab is selected. The main content area is light gray and contains a form for configuring a room. The form fields are: "Room Code" (text input with "R500"), "Description" (text input), "Room Code" (text input with "2851" and a "Refresh Code" button), "Room Photo" (image input with a "Upload" button), "Vendor" (text input with "ATEN"), "Firmware Version" (text input with "V1.0.075"), "Serial Number" (text input with "141455123"), and "Hardware Version" (text input). At the bottom of the form is an "Apply" button.

管理者画面

管理者としてログインすると、設定ビューが表示されます。

設定ビュー

設定ビューを使用すると本体システム設定画面にアクセスできます。設定ビューに移動するには、管理者としてウェブインターフェースにログインします。



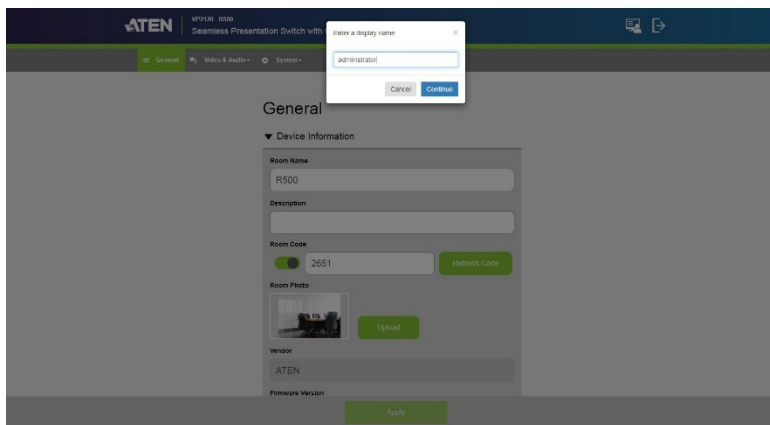
番号	コントロール	説明
1	設定タブ	これらのタブを使用してシステム設定にアクセスします。詳細については、p.64「システム設定」を参照してください。
2	プレゼンテーションに移動 	このボタンをクリックすると、プレゼンテーションビューに移動し、会議に参加できます。
3	ログアウト 	このボタンをクリックすると、VP2120のウェブインターフェースからログアウトします。

ヒント: 左上にあるATENロゴをクリックすると、ATENの公式ウェブサイトアクセスできます。

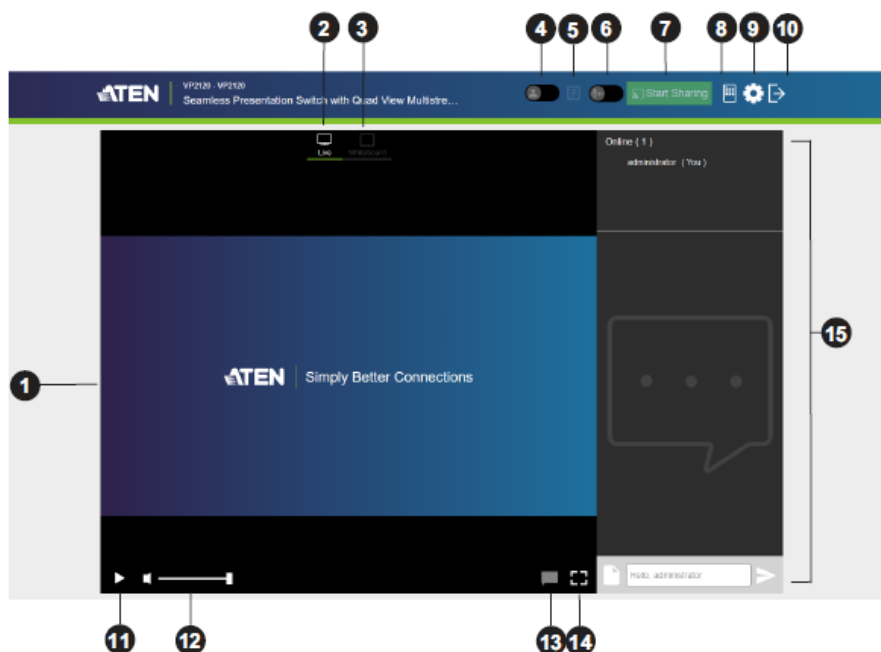
プレゼンテーションビュー

VP2120で開催する会議に参加するには、プレゼンテーションビューを使用します。プレゼンテーションビューにアクセスするには、管理者としてブラウザでリモートからログインし、ツールバーにある「**プレゼンテーションに移動**」アイコン()をクリックします。

そうすると、表示名の入力を求められます。



表示名を入力したら、「**続行**」をクリックします。そうすると、プレゼンテーションビューが表示されます。



番号	コントロール	説明
1	ライブ画面	VP2120からライブ配信されるコンテンツを表示します。
2	ライブ	「ライブ」アイコン()が表示されている場合、ライブ画面にはライブストリーミングが表示されています。
3	ホワイトボード	「ホワイトボード」アイコン()が表示されている場合、ライブ画面にはホワイトボードが表示されています。詳細については、p.30「ホワイトボード」を参照してください。
4	司会モード 	クリックすると、司会モードを有効にします。このモードでは、ユーザーがオーディオとビデオコンテンツを共有することができます。
5	参加者リスト 	クリックすると、参加者リストが表示されます。このリストでは、ユーザーのオーディオとビデオコンテンツをいつでも有効または無効にできます。

番号	コントロール	説明
6	マイク 	クリックすると、会議のメンバーと会話ができます。この機能を使用するには、マイクがVP2120に接続されているか確認してください。
7		クリックすると、お使いのPCまたはノートパソコンからVP2120に対して、画面、アプリケーションウィンドウ、またはChromeタブを共有し、すべての会議参加者に配信することができます。詳細については、p.48「画面やアプリケーションウィンドウの共有」を参照してください。
8	コントロールパネル 	クリックすると、VP2120のディスプレイ設定などにアクセスできます。なお、このメニュー画面からはメンテナンス、ネットワーク設定、全般設定などのシステム設定はありません。
9	設定 	このボタンをクリックすると、設定ビューに移動します。詳細については、p.44「設定ビュー」を参照してください。
10	ログアウト 	このボタンをクリックすると、VP2120のリモートアクセスからログアウトします。
11	再生/一時停止	このボタンをクリックすると、ライブストリーミングコンテンツを再生または一時停止します。
12	音量調節	音量を調整します。また、アイコンをクリックすると、ミュートにします。
13	チャットパネルを無効にする	チャットルームを削除して表示を大きくします。
14	フルスクリーン	表示をフルスクリーンに拡大します。
15	チャットパネル	このパネルを使用すると、他の会議参加者とインスタントメッセージを送信して、やり取りできます。

ヒント: 左上のATENロゴをクリックすると、ATENの公式ウェブサイトアクセスします。

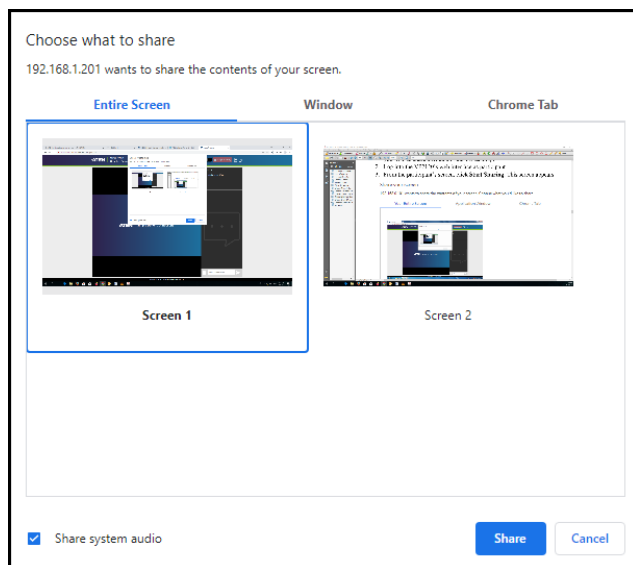
画面やアプリケーションウィンドウの共有

ノートパソコンやPCの画面、またはアプリケーションウィンドウやChromeタブを共有することができます。

注意:

- この機能は、Chromeを使用した場合にのみ利用可能です。
- VP2120は最大4つの同時ストリーミングチャンネルを受信できます。

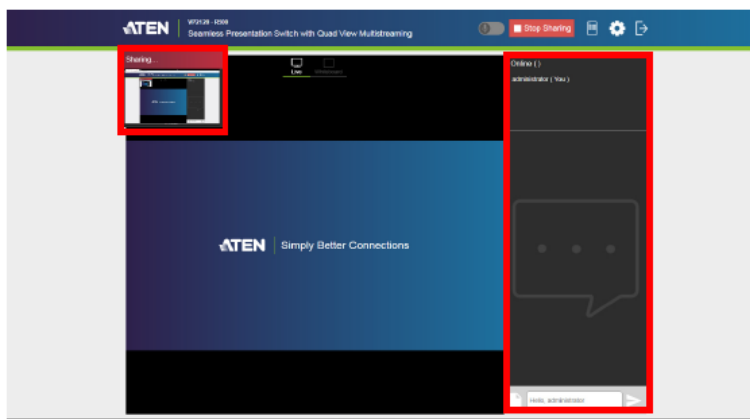
- 共有したい画面、アプリケーションウィンドウ、またはChromeタブが、PCまたはデスクトップで開いているか確認します。
- VP2120のウェブインターフェースに参加者としてログインします。
- 参加者の画面から「共有開始」をクリックします。そうすると、次のような画面が表示されます。システムオーディオとマイクオーディオの両方を結合して共有するには、「システムオーディオを共有する」チェックボックスをオンにして、「共有」をクリックします。



注意:

Chromeに必要な拡張機能がインストールされていない環境で本機能を有効にすると、拡張機能のインストールを促すメッセージが表示されます。その場合は、以下の手順に従って拡張機能をダウンロードし、インストールしてください。

- a. ポップアップしたプロンプトで「ダウンロード」をクリックします。
 - b. Chromeで新しいタブを開き、アドレスバーに「chrome://extensions」と入力して、拡張機能の画面を開きます。
 - c. 右上でデベロッパーモードを有効にし、画面を再度読み込みます。
 - d. ダウンロードした拡張ファイルをこの画面にドラッグ&ドロップして、ファイルをインストールします。
 - e. タブを閉じて再度開き、ブラウザの再読み込みを行います。
-
4. オプションを選択して「共有」をクリックします。そうすると、VP2120は選択したコンテンツを共有します。



5. ホストと参加者に対してコンテンツの共有を通知するには、次の方法があります。
 - キューウィンドウをクリックしてVP2120に別の通知を送信する。
 - チャットパネルを使用してテキストメッセージを送信する。

注意:

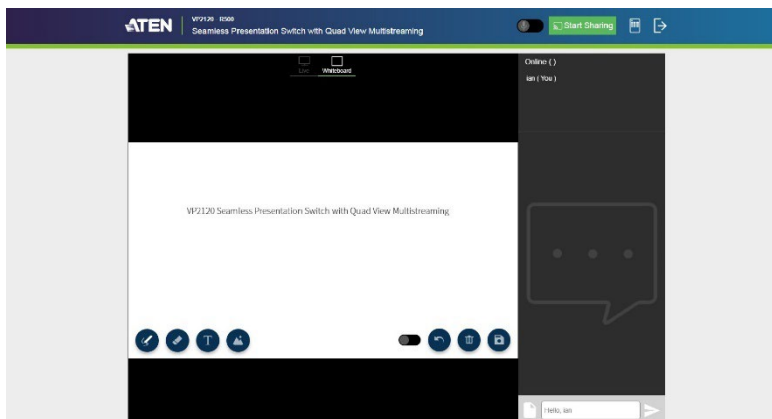
- アプリケーションウィンドウを共有する際は、共有を許可するためにウィンドウを開いたままにしてください。ウィンドウを最小化すると共有が終了します。
- 会議中にPC/ノートパソコンから発言して、ハウリングが発生した場合はスピーカーからオーディオ出力ケーブルを抜くまたはミュートする、ヘッドセットを利用するなどの対策をしてください。

- ソースを表示するために、少なくとも1台のディスプレイをストリーミングに設定してください。詳細については、p.19「ソースの切り替え」を参照してください。
 - RTMPが有効になっている場合、選択したコンテンツはプリセットされたストリーミングプラットフォーム(RTMP)にストリーミングされます。詳細はp.66を参照してください。RTMPが無効になっている場合、選択したコンテンツはVP2120に配信されます。
-

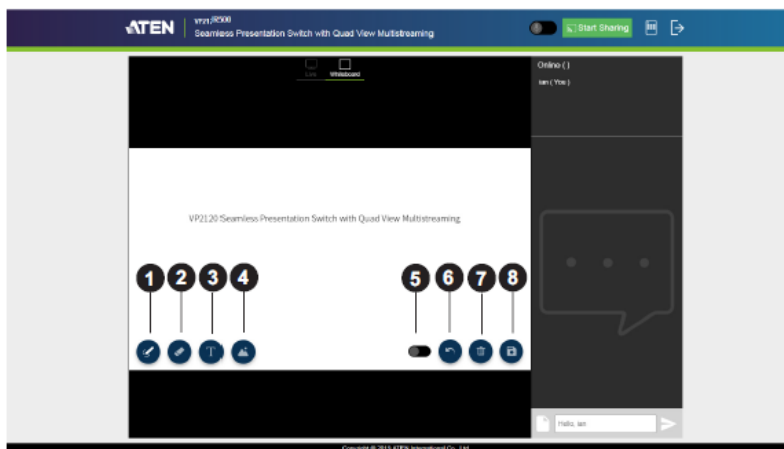
ホワイトボード

ホワイトボードでは、ディスプレイやホワイトボードの背景に対して、描画、画像の挿入、テキストの作成を行い、参加者全員と管理者に共有することができます。また、下書きをローカルに保存して、後で使用することもできます。

ホワイトボードを有効にするには、プレゼンテーションビューで**ホワイトボード**をクリックします。そうすると、このような画面が表示されます。



各ツールとその目的は以下のとおりです。

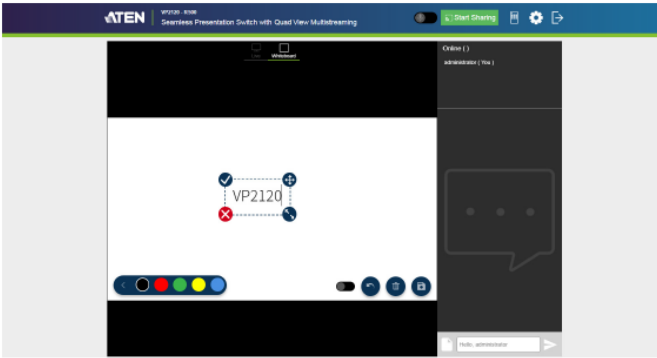


番号	ツール	説明
1	鉛筆	クリックすると、ホワイトボードに描画する手書き鉛筆の色とサイズを選択できます。
2	消しゴム	クリックすると、ホワイトボード上のピクセルを削除する消しゴムのサイズを選択できます。
3	テキスト	クリックすると、テキストを挿入し、色を選択できます。詳しい手順は、p.53「テキストの挿入方法」を参照してください。
4	イメージ	クリックすると、画像を参照してホワイトボードに挿入できます。
5	ディスプレイとホワイトボード背景の切り替え	ディスプレイとホワイトボードの背景を切り替えます。
6	取り消し	クリックすると、操作を取り消します(Undo)
7	ごみ箱	クリックすると、現在のホワイトボードに書かれた内容をすべて削除します。警告メッセージが表示された場合、「キャンセル」をクリックすると操作を取り消し、「続行」をクリックするとホワイトボードの内容を削除します。
8	保存	クリックすると、現在のホワイトボードがローカルコンピューター/デスクトップに自動的に保存されます。

テキストの挿入方法

ホワイトボードにテキストを挿入するには、以下の手順に従ってください。

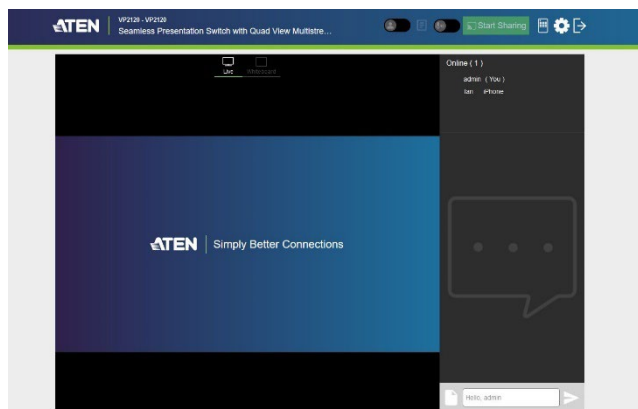
- 1. テキストツールをクリックしてテキストの色を選択します。
- 2. ホワイトボードの任意の場所を左クリックしてテキストを挿入します。



番号	ツール	説明
1		クリックして確定すると、入力したテキストがホワイトボードに反映されます。
2		クリックすると、現在のテキストを好きな位置にドラッグします。
3		クリックしてドラッグすると、現在のテキスト入力のサイズを変更できます。
4		クリックすると、現在のテキスト入力をキャンセルして削除します。

司会モード

司会モードが有効の場合、管理者は、参加者のビデオとオーディオの共有リクエストを管理することができます。



司会モードを有効にするには、以下の手順に従ってください。

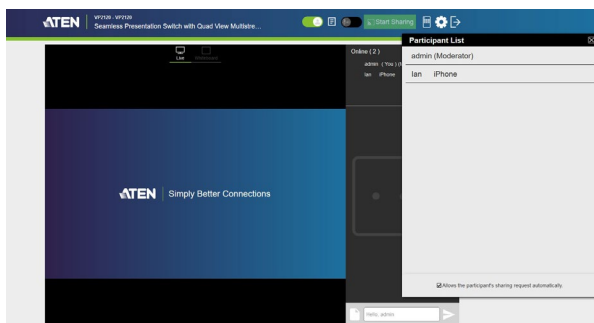
1. プレゼンテーションビューで、 をタップします。
2. ポップアップダイアログが表示されます。
 - 参加者がビデオとオーディオコンテンツを自動的に共有できるようにするには、「OK」をクリックします。
 - 参加者のビデオとオーディオの共有リクエストを管理するには、「いいえ」をクリックします。

Moderator Mode Enabled

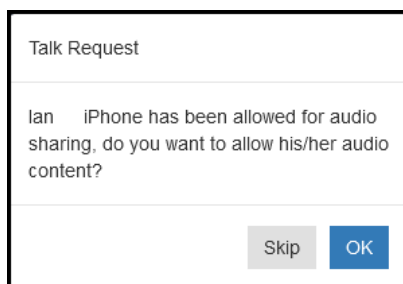
Do you want to allow the participants to share their video and audio contents?

Cancel No OK

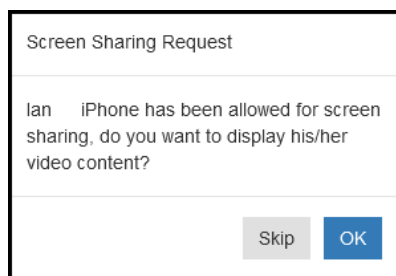
3. 司会モードが正常に有効になると、参加者リストが表示されます。
 - 参加者がビデオとオーディオコンテンツを自動的に共有できるようにするには、参加者リストの下部にあるチェックボックスをオンにします。
 - 参加者のビデオとオーディオの共有リクエストを管理するには、参加者リストの下部にあるチェックボックスをオフにします。



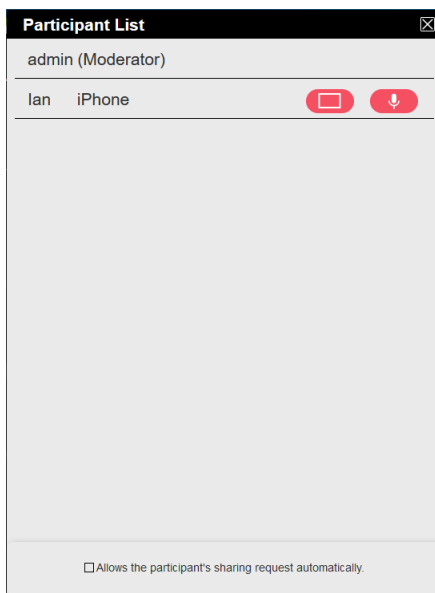
- 参加者からオーディオリクエストが送信されると、以下のようなメッセージが表示されます。この参加者のオーディオコンテンツを共有する場合は、「OK」をクリックします。オーディオコンテンツの共有を保留する場合は、「スキップ」をクリックします。



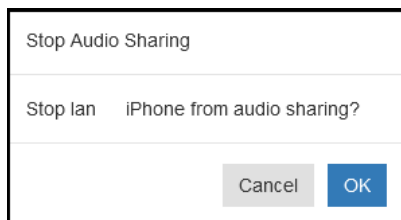
- 参加者からビデオリクエストが送信されると、以下のようなメッセージが表示されます。この参加者のビデオコンテンツを共有する場合は、「OK」をクリックします。ビデオコンテンツの共有を保留する場合は、「スキップ」をクリックします。



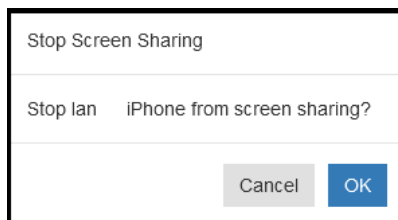
6. 1人の参加者のビデオとオーディオのコンテンツが共有されている場合、参加者リストは次のようになります。



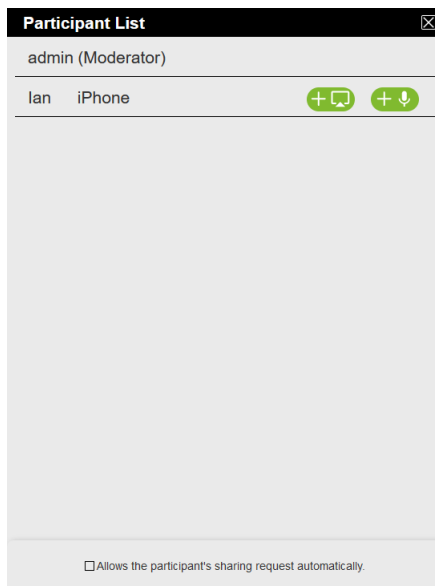
7. 参加者からのオーディオ共有を停止するには、 をクリックします。以下のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



8. 参加者からのビデオ共有を停止するには、 をクリックします。以下のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



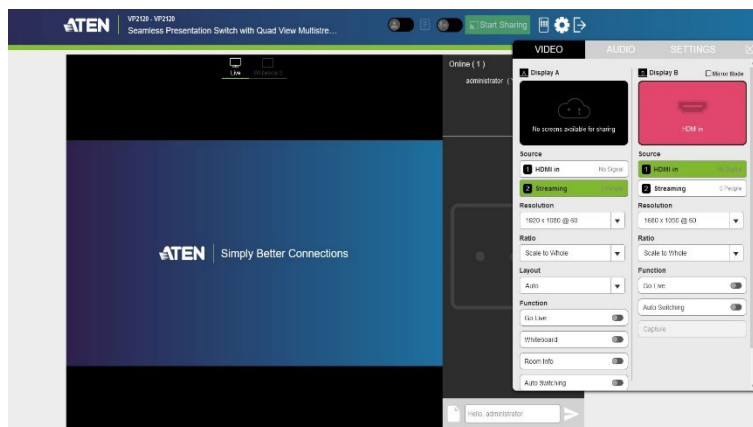
9. 1人の参加者のビデオとオーディオのコンテンツを共有停止すると、参加者リストは次のようになります。



ツール	説明
	参加者のオーディオコンテンツが共有されています。このアイコンをクリックすると、オーディオ共有を停止します。
	参加者のビデオコンテンツが共有されています。このアイコンをクリックすると、ビデオ共有を停止します。
	参加者のオーディオコンテンツの共有を停止しています。このアイコンをクリックすると、オーディオ共有を有効にします。
	参加者のビデオコンテンツの共有を停止しています。このアイコンをクリックすると、ビデオ共有を有効にします。

コントロールパネル

VP2120のオーディオ、ビデオ、全般設定を調整できます。これらの設定にアクセスするには、プレゼンテーションビューで「コントロールパネル」アイコン()をクリックします。そうすると、コントロールパネルが開きます。



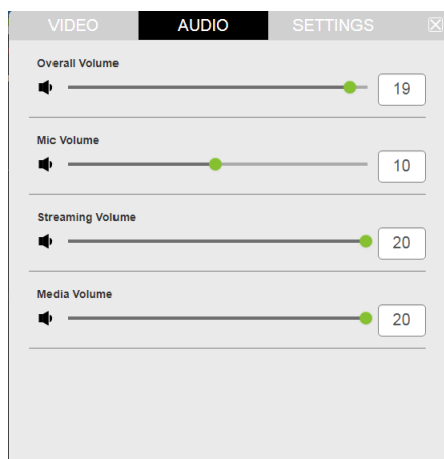
ビデオ



ビデオ設定		説明
A	ディスプレイA	選択したソースのプレビューを表示します。
B	ディスプレイB	選択したソースのプレビューを表示します。
	ミラーモード	接続された各ディスプレイは分配表示し、個別のディスプレイ設定は適用されません。チェックボックスをクリックして有効にすると、ディスプレイAの設定がディスプレイBに自動的に適用されます。
ソース	HDMI	ディスプレイAまたはディスプレイBに表示するHDMIソースを選択します。
	ストリーミング	ディスプレイAまたはディスプレイBに表示するストリーミングソースを選択します。
解像度		ドロップダウンリストをクリックして、ディスプレイの解像度とリフレッシュレート設定を選択します。この項目は、ディスプレイがVP2120に接続されている場合にのみ使用できます。

ビデオ設定		説明
比率	全体に合わせる	ディスプレイの四辺にぴったり合うようにビデオを拡大します。
	自動調整	コンテンツをカットせずに、ディスプレイに合わせてビデオを比例的に調整します。これにより、画面の上下または左右のいずれかに何らかの空白が残る場合があります。
	自動カット	ビデオをディスプレイいっぱいに合わせて比例的に拡大・縮小します。表示範囲外になったコンテンツは切り捨てられます。
レイアウト	自動(デフォルト)	表示レイアウトを自動に設定します。詳細はp.22「自動表示レイアウト(デフォルト設定)」を参照してください。
	シングル	表示レイアウトをシングルに設定します。詳細はp.24「シングル表示レイアウト」を参照してください。
	PbP	表示レイアウトをPbPに設定します。詳細はp.25「PbP表示レイアウト」を参照してください。
	トリプル	表示レイアウトをトリプルに設定します。詳細はp.25「トリプル表示レイアウト」を参照してください。
	クアッド	表示レイアウトをクアッドに設定します。詳細はp.26「クアッド表示レイアウト」を参照してください。
機能	GoLive	ディスプレイAまたはディスプレイBでライブ配信を有効にします。
	ホワイトボード	ディスプレイAでホワイトボードを有効にします。 注意: ホワイトボードはディスプレイAにのみ表示できます。
	部屋情報	ディスプレイAで部屋情報を有効にします。 注意: 部屋情報はディスプレイAにのみ表示できます。
	自動切替	新たに検出されたソースに自動的に切り替えます。
	キャプチャー	画面イメージをキャプチャーして、VP2120のUSBポートに接続されたストレージデバイスに保存します。この機能を使用するには、VP2120にストレージデバイスが挿入されているか確認してください。

オーディオ



オーディオ設定	説明
全体の音量	VP2120に接続されたスピーカーの音量を設定します。🔊を押すと、ミュートにします。
マイクの音量	VP2120に接続されたマイクの音量を設定します。🔊を押すと、ミュートにします。
ストリーミングの音量	ストリーミングされたソースの音量を設定します。🔊を押すと、ミュートにします。
メディアの音量	接続されたソースの音量を設定します。🔊を押すと、ミュートにします。

設定

The screenshot shows the 'SETTINGS' menu of the VP2120 OSD. The menu is organized into several sections:

- General**
 - Room Code: A toggle switch is turned on, and the code '2651' is displayed next to a 'Refresh' button.
 - Panel Lock: A dropdown menu set to 'Disable'.
 - OSD Language: A dropdown menu set to 'English'.
- Advanced**
 - EDID Mode: A dropdown menu set to 'Display A'.
 - HDCP Mode: A dropdown menu set to 'None HDCP'.
- Notification**
 - Display Time: A dropdown menu set to '5 secs'.
 - Web Event: A dropdown menu set to 'Enable'.
 - System Event: A dropdown menu set to 'Enable'.
- Info**
 - Vendor: ATEN
 - Firmware Version: V1.0.075

設定		説明
全般	部屋コード	リモートからVP2120にログインし、オンライン会議に参加するために必要な数字の組み合わせである部屋コードを有効にします。 独自の組み合わせを入力したり、「更新」をクリックしてランダムな番号を生成したりすることができます。
	パネルロック	OSDがアイドル状態のまま、ここで選択した時間が経過すると、VP2120本体のプッシュボタンを自動的にロックします。
	OSD言語	ドロップダウンリストを使用してVP2120に接続しているディスプレイAのメニュー画面の言語を設定します。

設定		説明
詳細設定	EDIDモード - ATENデフォルト - ディスプレイA	ATENデフォルト:このモードでは、接続されたソースにATENプリセットのEDIDが送信されます。 ディスプレイA:接続されたソースにディスプレイAのEDIDを送信するモードです。
	HDCPモード - HDCPなし - HDCP	「HDCPモード」を「HDCP」に設定すると、オーディオおよびビデオコンテンツの不正コピーを防止します。
通知	時刻の表示 - 無効 3秒 5秒 10秒	メニュー画面で通知メッセージのポップアップ時間を設定するか、この機能自体を無効にします。
	ウェブイベント - 有効 - 無効	ブラウザ操作で行われたユーザーアクションに関する通知を表示します。
	システムイベント - 有効 - 無効	システム状態、デバイス接続状態、およびメニュー画面で行われたユーザーアクションに関する通知を表示します。
情報	ベンダー、 ファームウェアバージョン、 シリアル番号、 ハードウェアバージョン、 ビルドバージョン	システム情報を表示します。

システム設定

全般設定

ここでは、デバイス名、システムの日付と時刻、およびログイン資格情報の設定を行います。全般設定ページにアクセスするには、管理者としてウェブインターフェースにログインし、「全般」タブをクリックします。

General

▼ Device Information

Room Name

R500

Description

Online Meeting

Room Code

2651

Refresh Code

Room Photo



Upload

Vendor

ATEN

Firmware Version

V1.0.075

Serial Number

141455123

Hardware Version

A-02

Build Version

19072606

▼ Date / Time

Device Time

2019-10-25 05:41:14

Time Zone

(GMT+08:00) Taipei

→ NTP Server

Manual Settings

2019-10-25 05:41:14

Sync with PC

▼ Change Password

Password

Confirm Password

▼ Advanced

EDID Mode

ATEN Default

HDCP Mode

HDCP

▼ Go Live to a Streaming Platform (RTMP)

☐

Server URL

rtmp://

Streaming key

◆ デバイス情報

- ◆ **部屋名:** VP2120の名前を入力します。この名前はVP2120のブラウザ画面の上部に表示されます。

- ◆ **説明:** 会議の説明を入力します。
- ◆ **部屋コード:** 部屋コードは、VP2120へリモートPCからブラウザアクセスし、会議システムにログインする際に必要な4桁の番号です。独自の番号を入力するか、「コードを更新」をクリックしてランダムに生成できます。
- ◆ **部屋の写真:** 会議を表す画像をアップロードできます。
- ◆ **ベンダー、ファームウェアバージョン、シリアル番号、ハードウェアバージョン、ビルドバージョン:** VP2120のデバイス情報を示します。

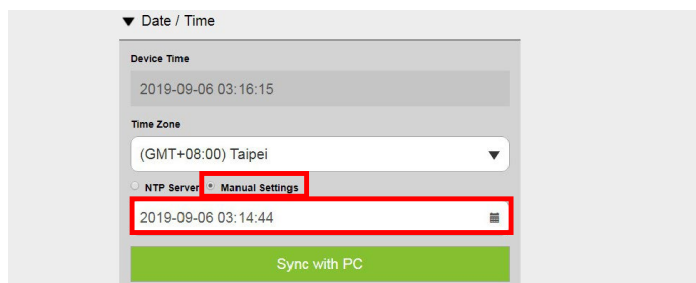
◆ 日付/時刻

注意:

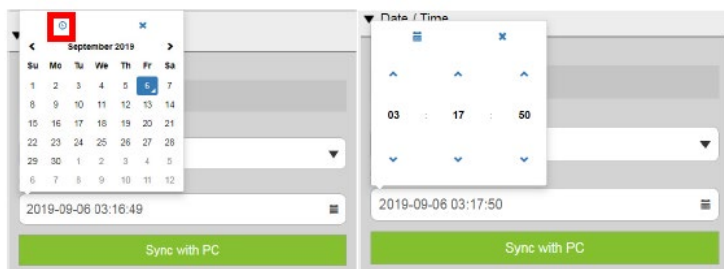
日付/時刻の設定が変更されると、VP2120は自動的にリフレッシュされ、ストリーミングされたチャンネル(ソース6)への接続が自動的に切断されます。

- ◆ **デバイス時刻:** 現在のデバイスの日付と時刻を表示します。
- ◆ **タイムゾーン:** ドロップダウンリストを使用してタイムゾーンを選択します。
- ◆ **NTPサーバー:** このオプションを選択した場合、VP2120の日付と時刻をNTPサーバーと同期します。
- ◆ **手動設定:** このオプションを選択した場合、VP2120の日付と時刻を手動で設定します。指定された項目をクリックしてカレンダーを開き、日付を選択し

ます。



- 🕒 をクリックすると、時刻を設定します。



- **PCと同期**:このボタンをクリックすると、VP2120の日付と時刻を、ウェブインターフェースを開いているPCと同期します。

◆ パスワードの変更

これらの項目を使用してブラウザアクセスのログインパスワードを変更します。

◆ 詳細設定

- **EDIDモード**:
 - **ATENデフォルト**:このモードでは、接続されたソースにATENプリセットのEDIDが送信されます。
 - **ディスプレイA**:接続されたソースにディスプレイAのEDIDを送信するモードです。
- **HDCPモード**:「HDCPなし」または「HDCP」を選択します。後者を選択した場合、オーディオおよびビデオコンテンツの不正コピーを防止します。
- ◆ **ストリーミングプラットフォーム(RTMP)でのライブ配信**

ストリーミングプラットフォーム(RTMP)でのライブ配信を有効または無効にします。

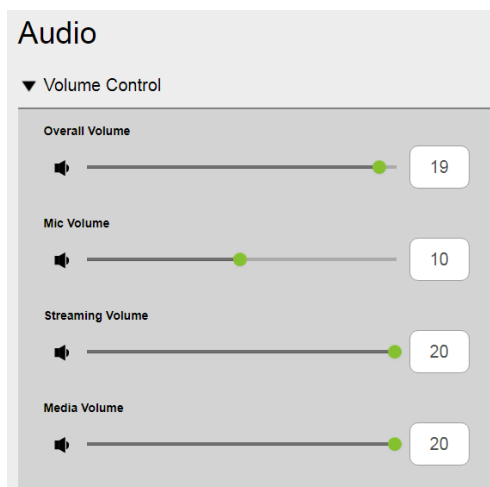
 - **サーバーURL**:ストリーミングプラットフォーム(RTMP)でのライブ配信が有効な

場合、ここにサーバーURLを入力します。

- **ストリーミングキー**:ストリーミングプラットフォーム(RTMP)でのライブ配信が有効な場合、ここにストリーミングキーを入力します。

オーディオ設定

オーディオ設定にアクセスするには、管理者としてウェブインターフェースにログインし、「ビデオ & オーディオ」>「オーディオ」に移動します。



- **音量調節**:スライダーをドラッグして音量設定を調整するか、音量の値を変更します。
 - **全体の音量**:VP2120に接続されたスピーカーの音量を設定します。🔊を押すとミュートにします。
 - **マイクの音量**:VP2120に接続されたマイクの音量を設定します。🔊を押すと、ミュートにします。
 - **ストリーミングの音量**:ストリーミングされたソースの音量を設定します。🔊を押すと、ミュートにします。
 - **メディアの音量**:接続されたソースの音量を設定します。🔊を押すと、ミュートにします。

表示設定

表示設定にアクセスするには、管理者としてウェブインターフェースにログインし、「ビデオ & オーディオ」>「表示」に移動します。

Display

▼ Basic

Mirror Mode

Disable ▼

▼ Display A

Display Source

Streaming ▼

Ratio

Scale to Whole ▼

Resolution

1920 x 1080 @ 60 ▼

Auto Switching

Disable ▼

▼ Display B

Display Source

Streaming ▼

Ratio

Scale to Whole ▼

Resolution

1920 x 1080 @ 60 ▼

Auto Switching

Disable ▼

▼ OSD Notification

Display Time

5 secs ▼

Web Event

Enable ▼

System Event

Enable ▼

◆ **基本(モード):**

- ◆ **ミラーモード:**接続されたディスプレイは映像分配し、個別のディスプレイ設定は適用できません。チェックボックスを有効にすると、ディスプレイAの設定が自動的にディスプレイBに適用されます。

◆ **ディスプレイA:**接続されたディスプレイデバイスの表示ソース・比率・解像度・自動切替を設定します。

- ◆ **表示ソース:**ドロップダウンメニューをクリックして、HDMIとストリーミングの間で表示ソースを選択します。

◆ **比率:**

- ◆ **全体に合わせる:**ディスプレイの四辺にぴったり合うようにビデオを拡大します。
- ◆ **自動調整:**コンテンツをカットせずに、ディスプレイに合わせてビデオを比例的に調整します。これにより、画面の上下または左右のいずれかに何らかの空白が残る場合があります。
- ◆ **自動カット:**ビデオをディスプレイいっぱいに合わせて比例的に拡大・縮小します。表示範囲外になったコンテンツは切り捨てられます。

- ◆ **解像度:**ドロップダウンリストをクリックして、ディスプレイデバイスの解像度とリフレッシュレート設定を選択します。この項目は、ディスプレイがVP2120に接続されている場合にのみ使用できます。

- ◆ **自動切替:**新たに検出されたソースに自動的に切り替えます。このオプションはディスプレイAでのみ利用可能です。

◆ **ディスプレイB:**接続されたディスプレイデバイスの表示ソース、比率、解像度、自動切替を設定します。

- ◆ **表示ソース:**ドロップダウンメニューをクリックして、HDMIとストリーミングの間で表示ソースを選択します。

◆ **比率:**

- ◆ **全体に合わせる:**ディスプレイの四辺にぴったり合うようにビデオを拡大します。
- ◆ **自動調整:**コンテンツをカットせずに、ディスプレイに合わせてビデオを比例的に調整します。これにより、画面の上下または左右のいずれかに何らかの空白が残る場合があります。

- **自動カット:**ビデオをディスプレイいっぱいに合わせて比例的に拡大・縮小します。表示範囲外になったコンテンツは切り捨てられます。
- **解像度:**ドロップダウンリストをクリックして、ディスプレイデバイスの解像度とリフレッシュレート設定を選択します。この項目は、ディスプレイがVP2120に接続されている場合にのみ使用できます。
- **自動切替:**新たに検出されたソースに自動的に切り替えます。このオプションはディスプレイAでのみ利用可能です。

◆ OSD通知

- **表示時間:**メニュー画面内での通知メッセージ表示時間を設定します。
- **ウェブイベント:**ブラウザ操作で行われたユーザーアクションに関する通知を表示します。
- **システムイベント:**システム状態、デバイス接続状態、およびメニュー画面で行われたユーザーアクションに関する通知を表示します。

メンテナンス

メンテナンスにアクセスするには、管理者としてウェブインターフェースにログインし、「システム」>「メンテナンス」に移動します。

The screenshot shows the 'Maintenance' section of a web interface. It is divided into three main categories, each with a dropdown arrow and a title: 'Firmware Upgrades', 'Backup / Restore', and 'Web Server SSL'. Under 'Firmware Upgrades', there are two green buttons: 'Browse File' and 'Upgrade'. Under 'Backup / Restore', there are four green buttons: 'Backup', 'Browse File', 'Restore', and 'Reset to Default'. Under 'Web Server SSL', there are three green buttons: 'Browse File' (under the 'Certificate' sub-header), 'Browse File' (under the 'Private Key' sub-header), and 'Update'.

- **ファームウェアのアップグレード:** アップグレードしたいファームウェアファイルを準備します。
- **ファイルを参照:** ダウンロードしたファームウェアファイルを参照します。
- **アップグレード:** 上記の手順を完了したら「アップグレード」をクリックします。手順が完了していないと、「アップグレード」ボタンは使用できません。

注意:

- <http://www.aten.com/global/en/> から製品ホームページにアクセスし、

「サポート&ダウンロード」タブで、ファームウェアファイルをダウンロードしてください。

- アップグレードが完了すると、確認メッセージが表示されます。
-
- **バックアップ/リストア:** VP2120の設定のバックアップ、エクスポート、リストアが行えます。また、VP2120をデフォルト設定にリセットすることもできます。なお、ユーザーアカウントとパスワードの設定は、バックアップの対象外となります。
 - **バックアップ:** VP2120の設定をバックアップするには「バックアップ」をクリックします。
 - **ファイルを参照:** 以前にバックアップしたファイル(.aes)を探して参照します。
 - **リストア:** 上記の手順を完了したら「リストア」をクリックします。手順が完了していないと、「リストア」ボタンは使用できません。
 - **デフォルトにリセット:** ネットワーク設定を含むすべての設定をデフォルト値にリセットします。
 - **ウェブサーバーSSL:** VP2120本体とVP2120のウェブインターフェースにアクセスするウェブブラウザ間のセッションを保護するために、SSL暗号化を適用できます。

注意:

SSLを暗号化する前に、信頼できる認証局からSSL証明書を購入し、VP2120のウェブインターフェースにアクセスできるコンピューターにファイルを保存する必要があります。

-
- **証明書:**
 - **ファイルを参照:** SSL証明書をアップロードするためにファイルを参照します。
 - **プライベートキー:**
 - **ファイルを参照:** SSLプライベートキーをアップロードするためにファイルを参照します。
 - **更新:** 上記の2つの手順を完了したら「更新」をクリックします。手順が完了していないと、「更新」ボタンは使用できません。

ネットワーク設定

VP2120のネットワーク接続を設定するには、管理者としてウェブインターフェースにログインし、「システム」>「ネットワーク」に移動します。

Network

▼ IP Settings

Mode

☒ DHCP ☐ Manual

IP

192.168.0.104

Mask

255.255.255.0

Gateway

192.168.0.1

DNS

192.168.0.1

- **DHCP:** ネットワーク内のDHCPサーバーから、VP2120にIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS設定を自動割り当てする場合に選択します。
- **手動:** IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSを手動で入力する場合に選択します。VP2120はネットワーク設定を変更しても再起動の必要はありません。

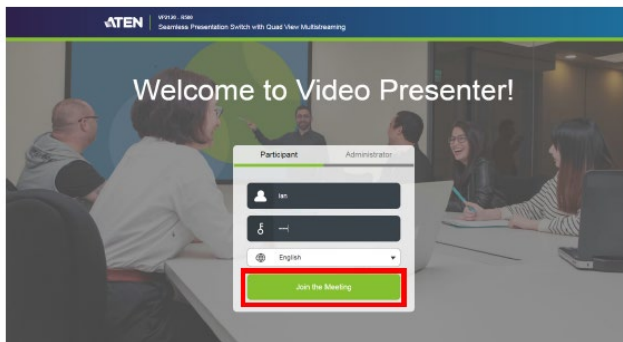
参加者アカウント

VP2120にブラウザやアプリから参加者としてログインすると、オンライン会議にリモート接続して、以下の操作が行えます。

- VP2120からストリーミングされたビデオを視聴する。
- インスタントメッセージで他の会議参加者とやり取りし、ファイルを共有する。
- 会議の参加者と画面を共有する。
- コントロールパネルからVP2120のオーディオ・ビデオの調整や全般設定を行う。

ウェブインターフェース経由で参加者として会議に参加するには

1. ウェブブラウザで、VP2120のウェブリンク(IPアドレス)を入力します。そうすると、このような画面が表示されます。



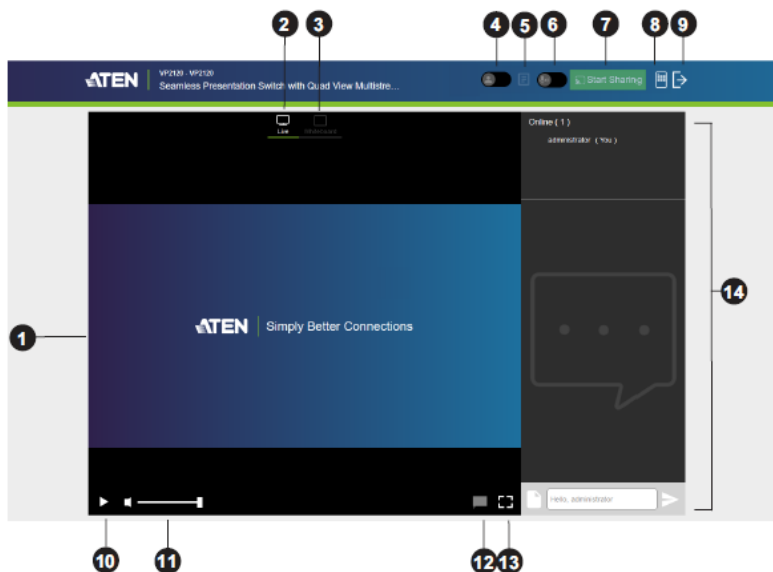
2. 任意の表示名を入力します。
3. VP2120で部屋コードが有効になっている場合は、部屋コードを入力します。

注意:  プッシュボタン/ボタンを押すと、部屋コードを確認できます。

4. (オプション) ドロップダウンリストをクリックして表示言語を変更します。
5. 「**会議に参加**」をクリックします。そうすると、会議のウェブビューに即座にログインします。

参加者画面

VP2120にブラウザを使ったリモートアクセスで参加者としてログインすると、以下の画面が表示されます。



番号	アイテム	説明
1	ライブ画面	VP2120からライブ配信されるコンテンツを表示します。
2	ライブ	アイコンの下に緑色の線が表示されている場合、ディスプレイではライブストリーミングコンテンツを表示しています。
3	ホワイトボード	アイコンの下に緑色の線が表示されている場合、ディスプレイではホワイトボードを表示しています。詳細については、p.30「ホワイトボード」を参照してください。
4	司会モード 	クリックすると、司会モードを有効にします。このモードでは、ユーザーがオーディオ・ビデオコンテンツを共有することができます。
5	参加者リスト 	クリックすると、参加者リストを表示します。このリストでは、ユーザーのオーディオおよびビデオコンテンツをいつでも有効または無効にできます。

番号	アイテム	説明
6	マイク 	クリックすると、会議メンバーと会話できます。この機能を利用するには、マイクがVP2120に接続されているか確認してください。
7		クリックすると、PCまたはノートパソコンからVP2120に対して、画面またはアプリケーションウィンドウを共有し、すべての会議参加者に配信できるようになります。詳細については、p.48「画面やアプリケーションウィンドウの共有」を参照してください。
8	コントロールパネル 	クリックすると、VP2120の基本設定にアクセスします。詳細については、p.58「コントロールパネル」を参照してください。
9	ログアウト 	このボタンをクリックすると、VP2120のウェブインターフェースからログアウトします。
10	再生/一時停止	ライブストリーミングコンテンツを再生または一時停止できます。
11	音量調節	音量を調整します。アイコンをクリックするとミュートにできます。
12	チャットパネルを無効にする	チャットルームを削除して表示を大きくします。
13	フルスクリーン	表示をフルスクリーンに拡大します。
14	チャットパネル	このパネルを使用すると、他の会議参加者とインスタントメッセージを送信し、やり取りできます。

ヒント: 左上のATENロゴをクリックすると、ATENの公式ウェブサイトアクセスします。

第5章

Telnetコマンド

概要

VP2120は、ホストコンピューターやコントロールシステムなどのデバイスに接続している場合、Telnetコマンドで設定や制御を行えます。この章では、Telnet経由でVP2120に接続する方法とコマンド構文について説明します。

Telnet経由でVP2120に接続するには

VP2120との間にTelnetセッションを確立するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ホストコンピューターまたはコントロールシステムのLANを、VP2120と同じネットワークに接続します。
2. コンピューターでコマンドラインプログラムを起動します。
3. 次のコマンドを入力します：

```
telnet [IPアドレス]:23
```

4. **[Enter]** キーを押すと、ログイン画面が表示されます。
5. ログインプロンプトで、VP2120のユーザー名とパスワードを入力します。
6. セッションが確立されると、VP2120をTelnet経由で制御・設定できます。コマンドの詳細は以下を参照してください。
 - p.78「コマンド構文」
 - p.79「コマンド一覧」

注意：

同じユーザー名で新たにログインすると、先に確立されていたセッションは終了し、最新のログインに置き換わります。

コマンド構文

- コマンドの一般的な形式は、次のとおりです。

コマンド パラメーター <引数> [1|2|3]

表記	説明
コマンド	コマンドの名前は太字で表示されます。
パラメーター	パラメーターの名前です。
<引数>	値の名前、またはユーザーが指定しなければならない情報です。 入力するのはカッコ内の情報だけで、カッコ自体は入力しません。
[]	オプションの項目です。入力するのはカッコ内の情報だけで、カッコ自体は入力しません。
{ }	ユーザーが選択しなければならないオプションです。
	コマンドラインで、相互に排他的な2つ以上の選択肢を示します。コマンドラインでは、オプションを1つだけ入力します。記号は入力しません。

- 複数のパラメーターを指定しても、その順序が演算結果に影響することはありません。例えば、次のコマンドはいずれも同じタスクを実行します。

コマンド名+パラメーター1+パラメーター2

コマンド名+パラメーター2+パラメーター1

コマンド一覧

以下のコマンドを使用すると、Telnet経由でVP2120を制御・設定できます。Telnetセッションの確立方法についてはp.77「Telnet経由でのVP2120への接続」を参照してください。

(引数)ポート番号

VP2120の各入出力ポートに対応する引数値は、以下の表を参照してください。例えば、ビデオHDMI入力の <input_port> 値は i01、オーディオMIC入力の <input_port> 値は i03 です。

ソース	ソース	インターフェース	ポート番号
ビデオ入力	HDMI	HDMI	i01
	ストリーミング	モバイル端末	i02
ビデオ出力	ディスプレイA	HDMI	o01
	ディスプレイB	HDMI	o02
オーディオ入力	マイク	ステレオ	i03
	ストリーミング	ステレオ	i04
	メディア	ステレオ	i05
オーディオ出力	全体	ステレオ	o10
	マイク→ライン出力	ステレオ	o11

capturescreen

- 機能・構文

構文	機能
capturescreen	画像の保存に利用できるUSBストレージ容量を表示します。
capturescreen [o<output_port> d<device>]	画面をキャプチャーして、この画像をVP2120に接続されたUSBストレージデバイスに保存します。

- パラメーター

- o<output_port>: 出力ポートを2桁の数字で指定します。
 - 出力1 (ディスプレイA) o01: ディスプレイAの画面をキャプチャーします。
 - 出力2 (ディスプレイB) o02: ディスプレイBの画面をキャプチャーします。
- d<device>: VP2120に接続されたUSBストレージデバイスを指定します。
 - USBストレージデバイス d01: キャプチャーされた画像がUSBストレージデバイスに保存されます。

- 例

capturescreen o01 d01

displaymode

- 機能・構文

構文	機能
displaymode	現在の表示モードを表示します。
displaymode {matrix mirror}	VP2120をマトリックスモードまたはミラーモードに設定します。

- パラメーター

- **matrix**: 実行すると、AVソースを個別に設定し、異なる出力を表示できます。
- **mirror**: 実行すると、ディスプレイBはディスプレイAと同じ映像を表示します。

- 例

displaymode mirror

edid

- 機能・構文

構文	機能
EDID	現在のEDIDモードを表示します。
EDID {o<output_port> default}	VP2120のEDIDモードを設定します。

- パラメーター

- **o<output_port>**: 出力ポートを2桁の数字で指定します。
 - 出力1 (ディスプレイA) o01: VP2120のEDIDモードを、HDMI出力ポートAに接続されたディスプレイに合わせて設定します。
- **default**: VP2120のEDIDモードをATENデフォルトに設定し、接続されたソースにATENプリセットのEDIDを送信します。

- 例

edid default

golive

- 機能

ディスプレイAとディスプレイBの間でストリーミングするためのHDMI出力を設定します。

- 構文

golive o<output_port> {on | off}

- パラメーター

- o<output_port>: 出力ポートを2桁の数字で指定します。
 - 出力1 (ディスプレイA) o01: コンテンツをディスプレイAにストリーミング出力します。
 - 出力2 (ディスプレイB) o02: コンテンツをディスプレイBにストリーミング出力します。
- on: 指定したポートでGoLive機能を有効にします。
- off: 指定したポートでGoLive機能を無効にします。

- 例

golive o01 on

hdcpswitch

- 機能・構文

構文	機能
hdcp	現在のHDCPモードを表示します。
hdcpswitch o<output_port> {on off}	VP2120のHDCPモードを設定します。

- パラメーター

- o<output_port>: 出力ポートを指定します。
 - o*: ディスプレイAとディスプレイBでHDCPモードを設定します。
- on: 指定したポートでHDCPモードを有効にします。
- off: 指定したポートでHDCPモードを無効にします。

- 例

```
hdcpswitch o* on
```

mute

- 機能・構文

構文	機能
mute	各入出力ポートのミュート設定を表示します。
mute {o<output_port> i<input_port>} {on off}	指定したオーディオ入出力のオーディオをミュート/ミュート解除します。

- パラメーター

- i<input_port>: 入力ポートを2桁の数字で指定します。
 - マイク入力 i03: マイクのオーディオ入力をミュートにします。
 - ストリーミング入力 i04: ストリーミングのオーディオ入力をミュートにします。
 - メディア入力 i05: メディアのオーディオ入力をミュートにします。
 - i*: すべてのオーディオ入力ポートをミュートにします。
- o<output_port>: 出力ポートを2桁の数字で指定します。
 - 全体 o10: 全体のオーディオ出力をミュートにします。
 - マイクからライン出力 o11: ストリーミングのオーディオ出力をミュートにします。
 - o*: すべてのオーディオ出力ポートをミュートにします。
- on: 指定した入出力ポートをミュートにします。
- off: 指定した入出力ポートのミュートを解除します。

- 例

```
mute i03 on
```

power

- 機能

VP2120の電源をスタンバイモードまたはオンにします。

- 構文

power off/on

- パラメーター

- off: VP2120の電源をオンからスタンバイモードに変更します。

- 例

power off

read

- 機能

VP2120本体のクロスポイント設定およびオーディオの入出力情報、EDIDモード、デバイス情報、ネットワーク設定を表示します。

- 構文

read

- パラメーター

- なし

- 例

read

reboot

- **機能**

VP2120を再起動します。

- **構文**

reboot

- **パラメーター**

- なし

- **例**

reboot

roominfo

- **機能**

メニュー画面での部屋情報を表示または非表示にします。

- **構文**

roominfo {on | off}

- **パラメーター**

- on: 部屋コード、リモートアクセス用のIPアドレス、会議参加用のQRコードなどの部屋情報をOSDに表示します。
- off: 部屋コード、リモートアクセス用のIPアドレス、会議参加用のQRコードなどの部屋情報をOSDに表示しません。

- **例**

roominfo on

scalemode

- 機能・構文

構文	機能
scalemode	ディスプレイAとディスプレイBのスケールモードの設定を表示します。
scalemode o<output_port> { full fit cut }	ディスプレイAとディスプレイBのスケールモードを設定します。

- パラメーター

- o<output_port>: 出力ポートを2桁の数字で指定します。
 - 出力1 (ディスプレイA) o01: ディスプレイAのスケールモードを設定します。
 - 出力2 (ディスプレイB) o02: ディスプレイBのスケールモードを設定します。
 - o*: ディスプレイAとディスプレイBのスケールモードを設定します。
- full: ビデオをディスプレイの四辺に合わせて拡大します。
- fit: コンテンツをカットせずに、ディスプレイに合わせてビデオを比例的に調整します。これにより、画面の上下または左右のいずれかに何らかの空白が残る場合があります。
- cut: ビデオをディスプレイいっぱいに合わせて比例的に拡大・縮小します。表示範囲外になったコンテンツは切り捨てられます。

- 例

scalemode o01 full

screenshare

- 機能・構文

構文	機能
screenshare	モバイルデバイスユーザーの情報を一覧表示します。
screenshare user<id> { full unfocus}	指定したIDのユーザーの共有画面にフォーカスを合わせたり、その画面からフォーカスを解除したりします。

- パラメーター

- user<id>: ユーザーIDを1桁の数字で指定します(1～4)。
- focus: 指定したIDのユーザーの画面にフォーカスを合わせます。
- unfocus: 指定したIDのユーザーの画面からフォーカスを解除します。

- 例

screenshare user 2 focus

SW

- **機能**

指定した映像ソースを指定したディスプレイに切り替えます。

- **構文**

sw {o<output_port>} {i<input_port>}

- **パラメーター**

- o<output_port>: 出力ポートを2桁の数字で指定します。
 - 出力1 (ディスプレイA) o01: ソースをディスプレイAに切り替えます。
 - 出力2 (ディスプレイB) o02: ソースをディスプレイBに切り替えます。
 - o*: ソースをディスプレイAとディスプレイBに切り替えます。
- i<input_port>: 入力ポートを2桁の数字で指定します。
 - HDMI入力 i01: HDMI入力を指定したディスプレイに切り替えます。
 - ストリーミング入力 i02: ストリーミング入力を指定したディスプレイに切り替えます。

- **例**

sw o01 i02

swmode

- 機能・構文

構文	機能
swmode	ディスプレイAとディスプレイBの自動切替モード設定を表示します。
swmode [o<output_port>] plugin {auto off}	ディスプレイAとディスプレイBの自動切替を有効/無効にします。

- パラメーター

- o<output_port>: 出力ポートを2桁の数字で指定します。
 - 出力1 (ディスプレイA) o01: ディスプレイAの自動切替を有効にします。
 - 出力2 (ディスプレイB) o02: ディスプレイBの自動切替を有効にします。
 - o*: ディスプレイAとディスプレイBの自動切替を有効にします。
- auto: 指定したディスプレイの自動切替を有効にします。
- off: 指定したディスプレイの自動切替を無効にします。

- 例

swmode o01 plugin auto

volume

- 機能・構文

構文	機能
volume	各入出力ポートの音量を表示します。
volume [o<output_port> i<input_port>] v<volume_number>	指定した入出力ポートの音量を設定します。

- パラメーター

- i<input_port>: 入力ポートを2桁の数字で指定します。
 - マイク入力 i03: マイクのオーディオ入力の音量を調整します。
 - ストリーミング入力 i04: ストリーミングのオーディオ入力の音量を調整します。
 - メディア入力 i05: メディアのオーディオ入力の音量を調整します。
 - i*: すべてのオーディオ入力ポートの音量を調整します。
- o<output_port>: 出力ポートを2桁の数字で指定します。
 - 全体 o10: 全体のオーディオ出力の音量を調整します。
 - o*: すべてのオーディオ出力ポートの音量を調整します。
- v<volume_number>: 指定したオーディオポートに設定する音量を2桁(01～20)の数字で指定します。

- 例

volume i03 v10

whiteboard

- **機能**

メニュー画面でのホワイトボードを表示または非表示にします。

- **構文**

whiteboard {on | off}

- **パラメーター**

- on: メニュー画面にホワイトボードを表示します。
- off: メニュー画面にホワイトボードを表示しません。

- **例**

whiteboard on

第6章

ビデオプレゼンテーション コントロールアプリ

概要

ATENビデオプレゼンテーションコントロールアプリは、iPhoneやAndroid端末を使用して、会議への参加、コンテンツの共有、ソースとディスプレイの切り替え、VP2120デバイスへのシステム設定といった操作を簡単に行うことができるように設計されています。

システム要件

- アプリをインストールする前に、スマートフォンまたはタブレットで使用されているモバイルOSのバージョンが、本製品でサポートされているか確認してください。詳細は下表のとおりです。

モバイルOS	対応バージョン
iOS	12.0以降
Android	8.0以降

- スマートフォンやタブレットは、ATENプレゼンテーションスイッチャーがセットアップされているネットワークに接続してください。

アプリのインストール

- スマートフォンまたはAndroidタブレットでアプリをダウンロードしてインストールします。
 - 各端末で、**App Store**()、または**Google Play**()のアイコンをタップします。
 - 検索ボックスに「ATEN Video Presentation Control App」と入力します。

- c) ATENビデオプレゼンテーションコントロールアプリをタップするか、以下のQRコードをスキャンして、アプリをインストールします。



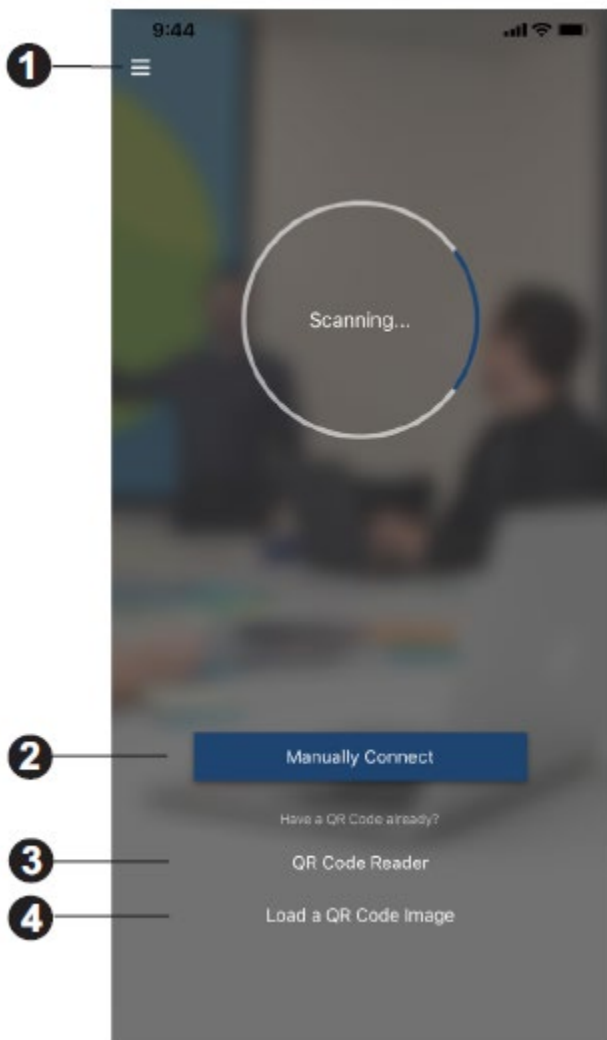
2. スマートフォンまたはタブレットで、ATENビデオプレゼンテーションコントロール

アプリのアイコン()をタップします。

iOS版

メイン画面

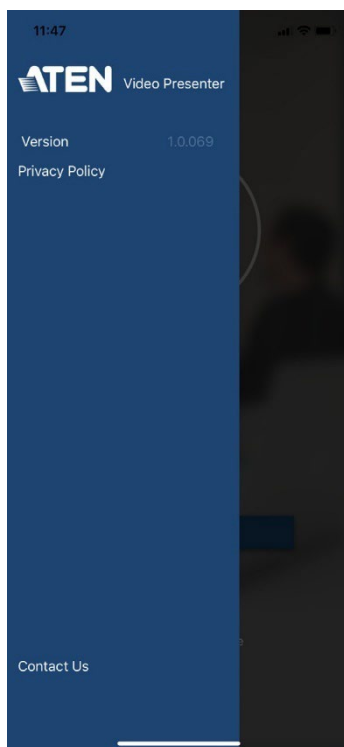
アプリを起動すると、アプリは最初にスキャン画面を表示します。これはネットワーク内にVP2120を検索し、検出されるとリストにて表示されます。各タブの概要については、下表を参照してください。



番号	名称	説明
1	情報 	このアイコンをタップすると、アプリのバージョン、プライバシーポリシー、連絡先などの情報が表示されます。
2	手動接続	このアイコンをタップすると、自動検索ではなくVP2120のIPアドレスまたは4桁の部屋コードを入力して会議に手動で接続できます。
3	QRコードリーダー	このアイコンをタップすると、QRコードをスキャンして会議に参加できます。
4	QRコード画像の読み込み	このアイコンをタップすると、会議に参加するためのQRコード画像をアップロードできます。

情報

下図は情報をクリックした時に表示される画面です。ここには、バージョン、プライバシーポリシー、連絡先が表示されます。「連絡先」をタップすると、ATENの公式ウェブサイトへ直接接続することができます。



注意:

特に指定のない限り、本書に記載されている画面はすべてスマートフォン専用です。タブレットの実際の画面のレイアウトは、これらの例と若干異なる場合があります。

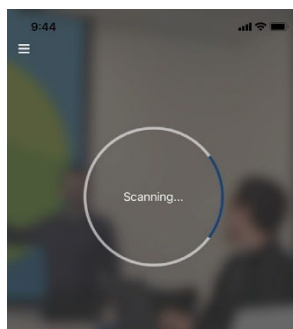
会議への参加

アプリを通じて会議に参加するには、3つの方法があります。アプリを開いている場合は、デバイスとアクセス可能な部屋を自動的にスキャンします。あるいは、IPアドレスと部屋コードの手入力や、QRコードの使用といった方法でも会議に参加できます。本項では、それぞれの方法について説明します。

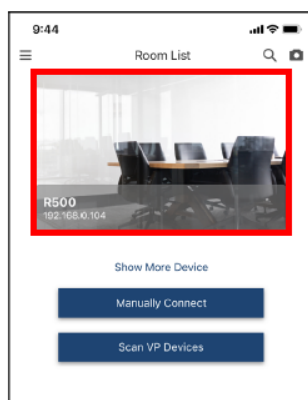
自動接続の場合

会議を自動的にスキャンして参加するには、次の手順に従って操作してください。

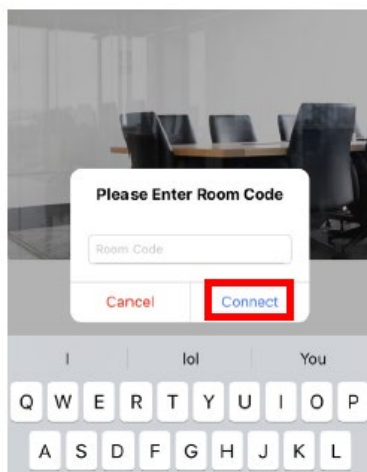
1. ATENビデオプレゼンテーションコントロールアプリを開き、VP2120が検出されるまで待機します。



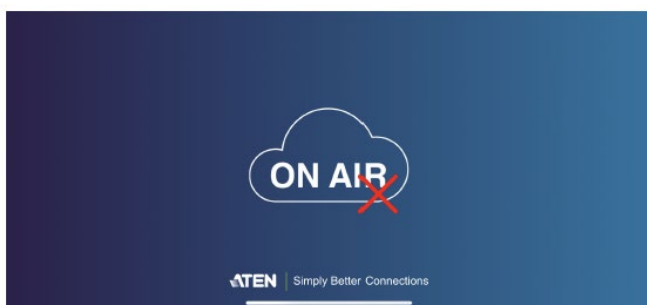
2. スキャンが終了し、部屋一覧が表示されたら、会議に参加する部屋をタップします。



3. 部屋コードを入力し、「接続」をタップします。



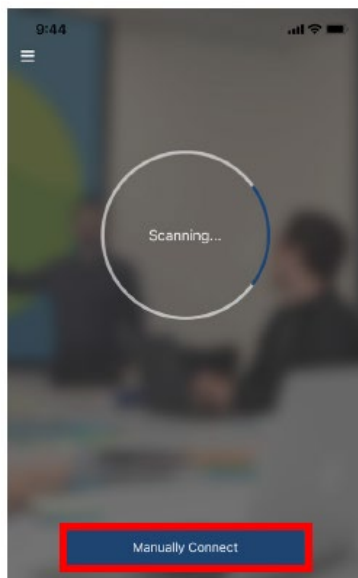
4. これで、会議に正常に参加できます。



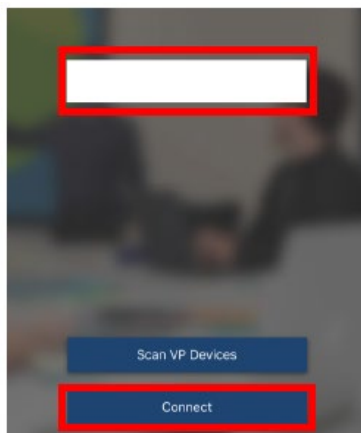
手動接続の場合

会議に手動で接続して参加するには、次の手順に従って操作してください。

1. ATENビデオプレゼンテーションコントロールアプリを開き、「手動で接続」をタップします。



2. VP2120のIPアドレスと必要な部屋コードを入力し、「接続」をタップします。

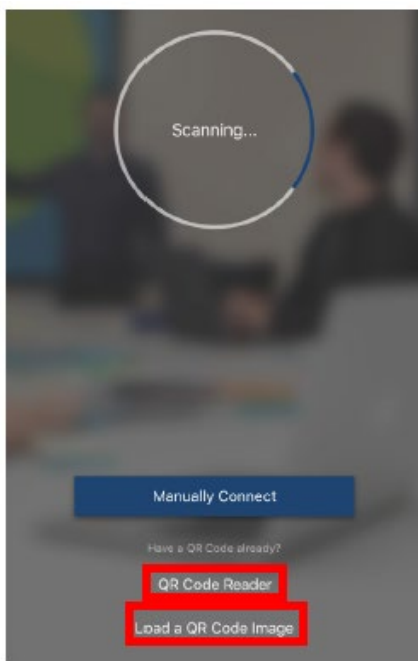


3. これで、会議に正常に参加できます。

QRコードを使用する場合

QRコードで会議に参加するには、以下の手順に従って操作を行ってください。

1. ATENビデオプレゼンテーションコントロールアプリを開き、QRコードリーダーか、「QRコード画像の読み込み」をタップします。



2. QRコードリーダーを使用する場合は、QRコードリーダーをタップして、事前に生成された、またはVP2120で表示されているQRコードを読み取ります。
3. QRコード画像を読み込む場合は、「QRコード画像の読み込み」をタップして、事前に生成されたQRコードをアップロードします。
4. これで、会議に正常に参加できます。

会議画面

会議に正常に参加した場合、以下のような画面が表示されます。



各機能については、下表で説明します。

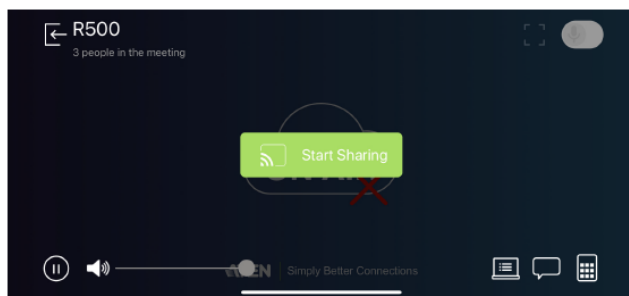
番号	名称	説明
1	ライブ画面	VP2120からライブ配信されるとコンテンツをここに表示されます。
2	再生/一時停止	このアイコンをタップすると、ライブストリーミングコンテンツを再生または一時停止します。
3	音量調節	音量を調整します。また、  をタップすると、ミュートにします。
4	ホワイトボード 	このアイコンをタップすると、スマートフォンまたはタブレットにホワイトボードを表示します。詳細については、p.30「ホワイトボード」を参照してください。
5	チャットルーム 	このアイコンをタップすると、チャットパネルが表示されます。このパネルでは、会議に接続している他の参加者とテキストでやり取りしたり、ファイルを共有したりすることができます。

番号	名称	説明
6	コントロールパネル 	このアイコンをタップすると、VP2120の基本設定にアクセスします。 詳細については、p.108「スマートフォンのコントロールパネル」を参照してください。
7	ログアウト 	このアイコンをタップすると、ログアウトして会議から退出します。
8	マイク 	ストリーミングがない場合、このアイコンはグレー表示になります。 詳細については、p.120「VPの詳細設定」を参照してください。マイクが利用可能になった場合、  をタップすると、会議参加者に話しかけることができます。この場合、アイコンが緑色になります（  ）。
9		このアイコンをタップすると、スマートフォン/タブレットの画面を共有し、すべての会議参加者に配信できるようになります。詳細については、p.103「コンテンツのストリーミング出力」を参照してください。

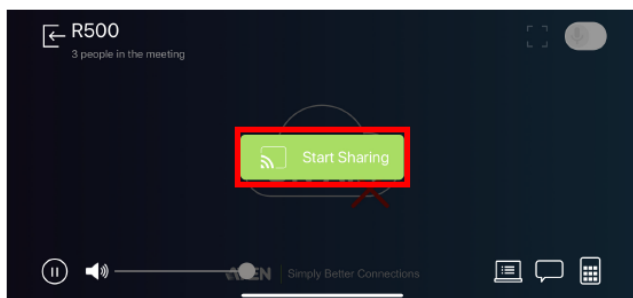
コンテンツのストリーミング出力

VP2120に接続中の参加者は、表示させたいコンテンツをアプリ経由で共有できます。スマートフォンやタブレットでコンテンツを共有するには、以下の手順に従ってください。

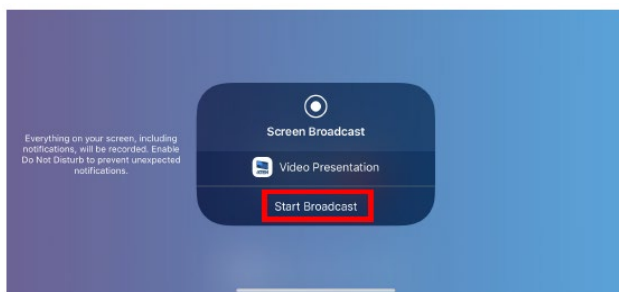
1. VP2120で会議に参加したら、スマートフォン/タブレットの画面をタップします。そうすると、以下のような画面が表示されます。



2. 「共有開始」をクリックします。そうすると、以下のような警告メッセージが表示されます。



3. 以下のような警告メッセージが表示されたら、「放送開始」をクリックします。

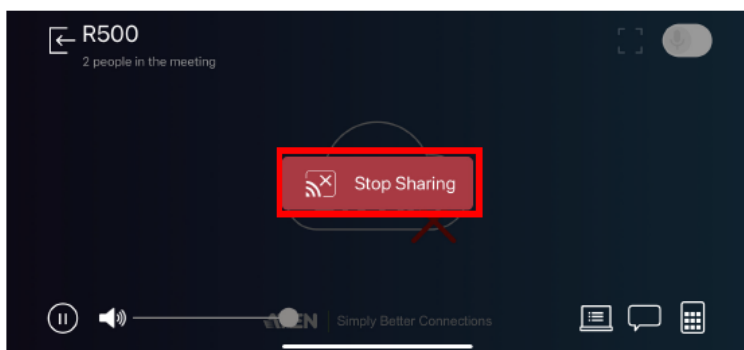


4. これで、画面全体が会議の参加者全員に共有されています。

注意:

RTMPが有効になっている場合、選択済みのコンテンツはプリセットされたストリーミングプラットフォーム(RTMP)にストリーミングされます。詳細はp.66を参照してください。RTMPが無効の場合、選択したコンテンツはVP2120に配信されません。

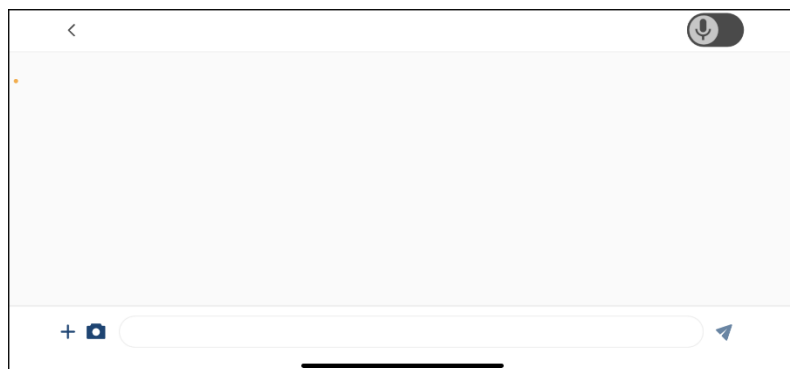
5. 共有を終了するには、スマートフォンまたはタブレットの画面をタップしてから、「共有停止」をタップします。



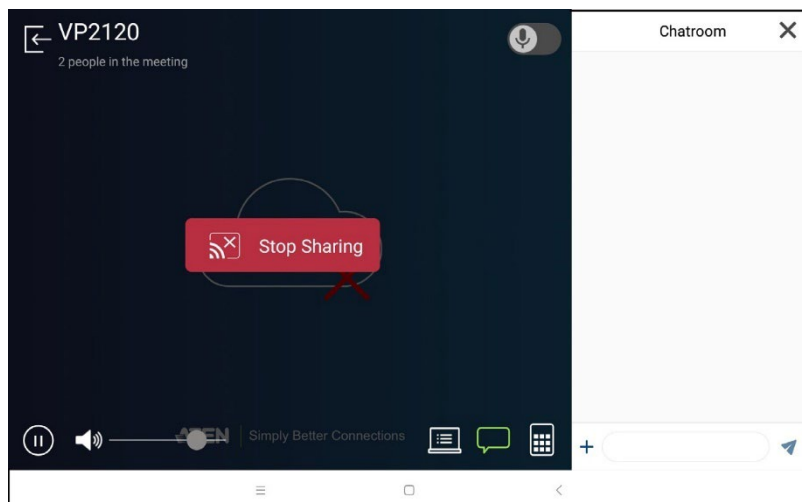
チャットルーム

チャットルームでは、接続中の参加者とテキストをやり取りしたり、情報を共有したりすることができます。ファイル共有により、やり取りできる情報量が増え、十分なフォローアップが可能になります。

スマートフォンの画面から「チャットルーム」ボタン()をタップすると、以下のような画面が表示されます。



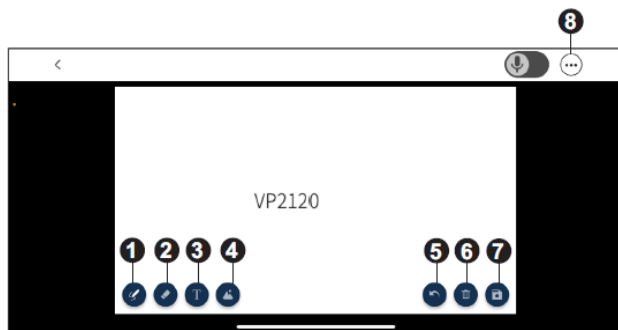
タブレットの画面から「チャットルーム」ボタン()をタップすると、以下のような画面が表示されます。



ホワイトボード

ホワイトボードでは、描画、画像の挿入、テキストの作成を行って、参加者や管理者と共有することができます。また、ホワイトボードはローカルに保存して、後で使うこともできます。

スマートフォン/タブレットの画面から「ホワイトボード」ボタン()をタップすると、以下のような画面が表示されます。各ツールとその目的は下表のとおりです。

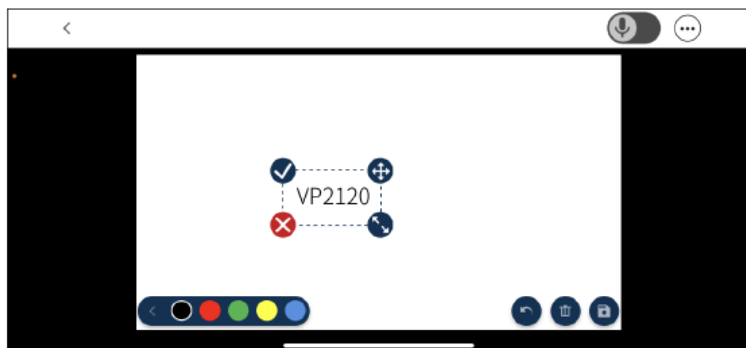


番号	ツール	説明
1	鉛筆	タップすると、ホワイトボードに描画する鉛筆の色とサイズを選択できます。
2	消しゴム	タップすると、ホワイトボード上のピクセルを削除する消しゴムのサイズを選択できます。
3	テキスト	タップすると、文字色を選択できます。テキストを挿入する方法については、p.53「テキストの挿入方法」を参照してください。
4	イメージ	タップすると、ホワイトボードに画像を挿入します。
5	取り消し	タップすると、現在の操作を取り消します。
6	ごみ箱	タップすると、現在のホワイトボードに書かれた内容をすべて削除します。警告メッセージが表示された場合、「キャンセル」をクリックすると操作を取り消し、「続行」をクリックするとホワイトボードを削除します。
7	保存	タップすると、現在のホワイトボードがストレージまたは画像フォルダに保存されます。
8	ホワイトボード/ ディスプレイ	タップすると、ホワイトボードとディスプレイの背景を選択できます。

テキストの挿入方法

ホワイトボードにテキストを挿入するには、以下の手順に従ってください。

1. 「テキスト」ツールをタップして文字色を選択します。
2. ホワイトボードの任意の場所をタップしてテキストを挿入します。



番号	ツール	説明
1		タップすると、現在のテキストがホワイトボードに入力されます。
2		スワイプして現在のテキストを好きな位置にドラッグします。
3		スワイプすると、現在のテキストのサイズを変更できます。
4		タップすると、現在のテキストを削除します。

スマートフォンのコントロールパネル

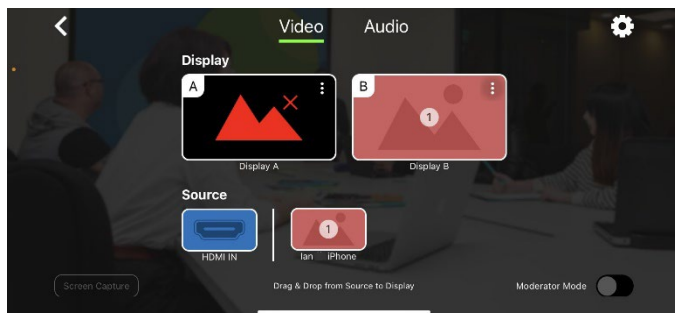
コントロールパネルでは次の操作が行えます。

- 表示ソースの切り替え
- 表示モード・解像度・アスペクト比の設定変更
- ネットワーク接続を通じた現在のディスプレイのストリーミング配信（GoLive機能）
- VP2120における主なシステム設定
- 画面キャプチャーの取得

スマートフォンの画面から「コントロールパネル」ボタン()をタップすると、以下のような画面が表示されます。



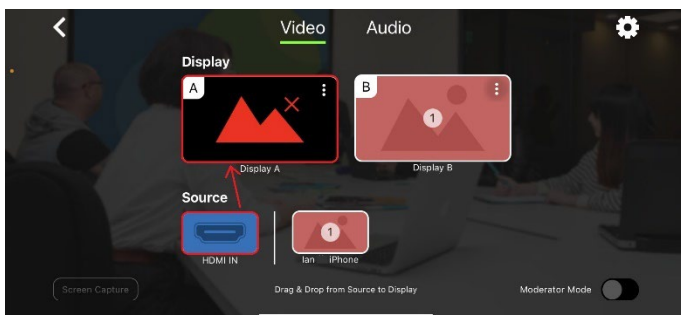
ビデオパネル



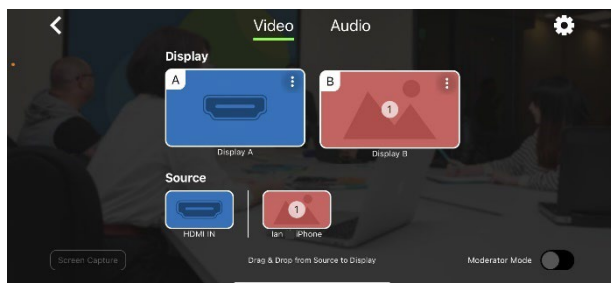
ディスプレイに対するソースの切り替え

ディスプレイに対するソースの切り替えは、次の手順で行ってください。

1. HDMI入力ソースをディスプレイAに切り替えるには、ビデオパネルからソースをディスプレイAにドラッグします。



2. これで、ディスプレイAにHDMI入力のコンテンツが表示されるようになりました。



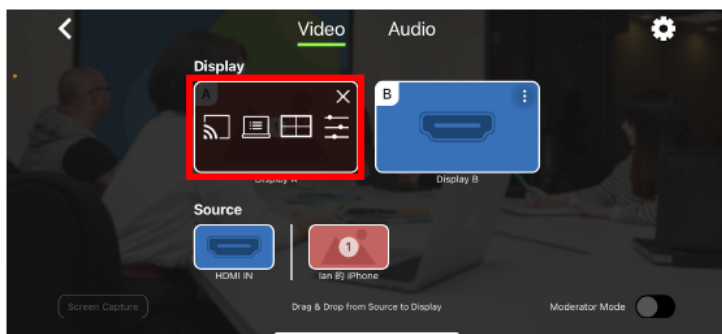
ディスプレイの機能と設定

GoLive機能を使用したり、マルチビューモードレイアウトを有効にしたり、選択したディスプレイのディスプレイ設定を行ったりするには、次の手順に従って操作してください。

1. 選択したディスプレイの右上隅にある  をタップします。



2. そうすると、下図のような画面が表示されます。

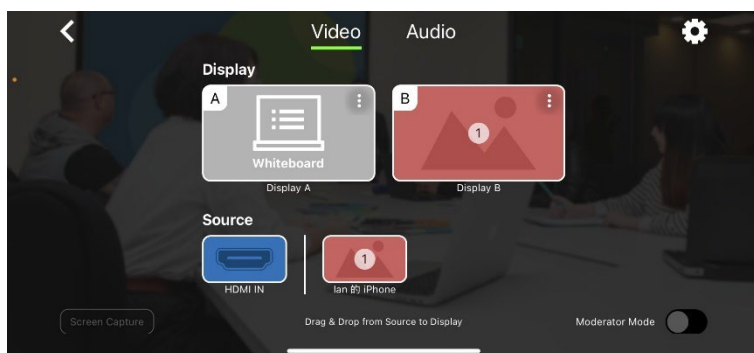


ツール	説明
GoLive 	このアイコンをタップすると、ディスプレイをストリーミング配信します。VP2120がネットワークに接続されていない場合、このアイコンはグレー表示になります。 重要: • VP2120がネットワークに接続し、かつ、ネットワーク帯域幅が2MB以上あることを確認してください。 • 参加者1人につき、少なくとも2MBの帯域幅を使用します。

ツール	説明
ホワイトボード 	このアイコンをタップすると、ホワイトボードの画面が表示されます。詳細については、p.30「ホワイトボード」を参照してください。 重要: この機能はディスプレイAでのみサポートされています。
マルチビュー レイアウト 	このアイコンをタップすると、画面上のディスプレイコンテンツのレイアウト形式を自動(デフォルト)、シングル、PbP、トリプル、クアッドビューから選択できます。詳細については、p.112「マルチビューレイアウト」を参照してください。 重要: この機能はストリーミング入力ソースでのみ利用できます。
表示設定 	このアイコンをタップすると、アスペクト比、解像度、自動切替などの表示設定が行えます。詳細については、p.113「表示設定」を参照してください。

ホワイトボード

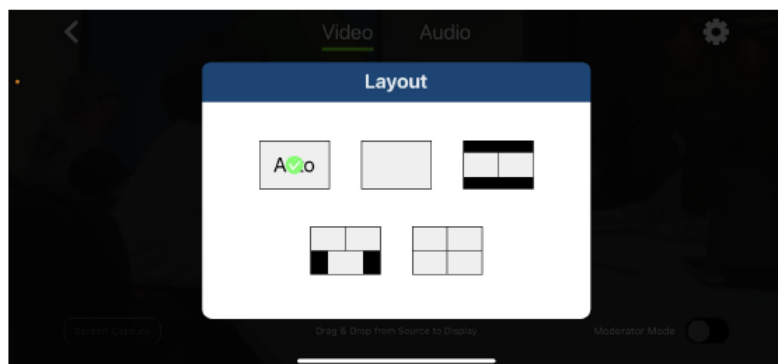
ディスプレイAでホワイトボードを有効にするには、選択したディスプレイから  をタップしてください。



マルチビューレイアウト

ストリーミング入力をマルチビューレイアウトにて表示させるには、以下の手順に従ってください。

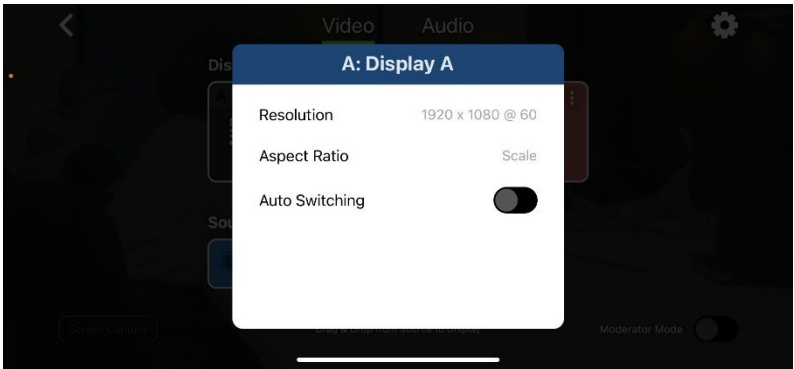
1. 選択したディスプレイで  をタップします。そうすると、以下のような画面が表示されます。



2. 希望のレイアウトを選択します。

表示設定

選択したディスプレイのシステム設定を行うには、 をタップします。そうすると、以下のような画面が表示されます。



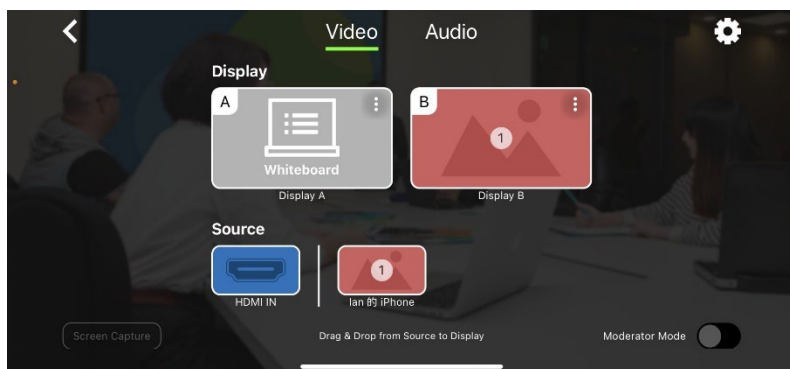
システム設定	
注意: デフォルト設定は太字で表記されています。	説明
解像度	ディスプレイデバイスの解像度とリフレッシュレートの設定を選択します。この項目は、ディスプレイがVP2120本体に接続されている場合にのみ使用できます。
アスペクト比	• スケール: ディスプレイの四辺にぴったり合うようにビデオを拡大します。 • 自動調整: コンテンツをカットせずに、ディスプレイに合わせてビデオを比例的に調整します。これにより、画面の上下または左右のいずれかに何らかの空白が残る場合があります。 • 自動カット: ビデオをディスプレイいっぱいに合わせて比例的に拡大・縮小します。表示範囲外になったコンテンツは切り捨てられます。
自動切替	ディスプレイデバイスの自動切替をオン/オフにします。

画面キャプチャー

画面をキャプチャーするには、**Screen Capture** をタップします。キャプチャーした画像は、VP2120のUSBポートに接続したストレージデバイスに保存されます。この機能を使用する前に、VP2120にストレージデバイスが挿入されていることを確認してください。

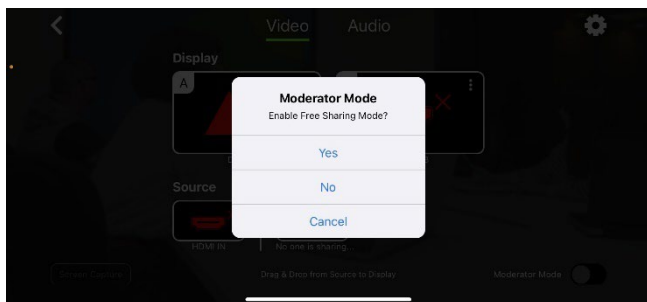
司会モード

司会モードが有効になると、管理者が参加者のビデオとオーディオの共有リクエストを管理できるようになります。



司会モードを有効にするには、以下の手順に従ってください。

1. ビデオパネルで **Moderator Mode** をタップします。
2. ポップアップダイアログが表示されます。
 - 参加者がビデオとオーディオコンテンツを自動的に共有できるようにするには、「はい」をタップします。
 - 参加者のビデオとオーディオの共有リクエストを却下するには、「いいえ」をタップします。



3. 司会モードが有効になると、司会モードボタンが緑色になり

(Moderator Mode )、「参加者リスト」アイコン()が表示されます。

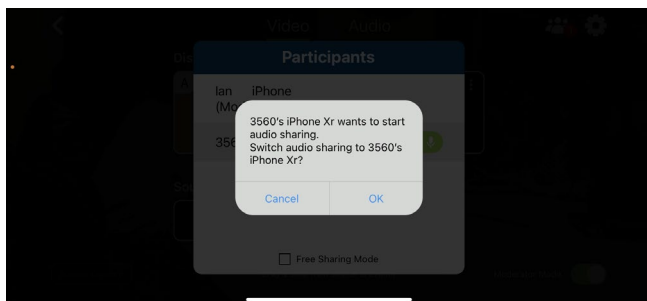


4.  をタップして参加者リストを表示します。

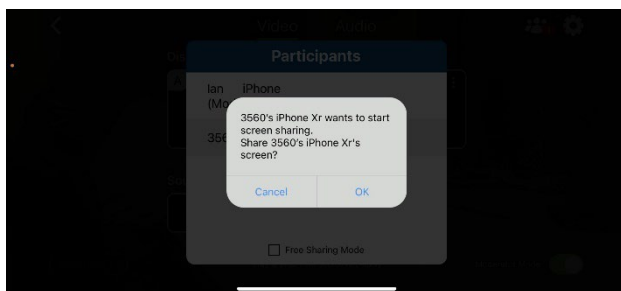
- 参加者リストの下部にあるチェックボックスをオンにすると、参加者から司会者にリクエストしなくても、すぐ共有できるようになります。
- このチェックボックスをオフにすると、参加者のビデオとオーディオの共有リクエストを司会が許可するか確認画面が表示されます。



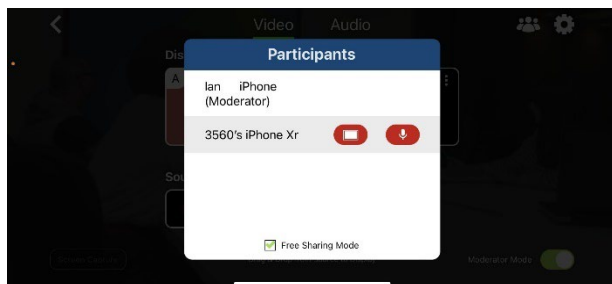
5. 参加者からオーディオリクエストが送信されると、以下のメッセージが表示されます。オーディオコンテンツを共有する場合は、「OK」をタップします。オーディオコンテンツの共有を却下する場合は、「キャンセル」をタップします。



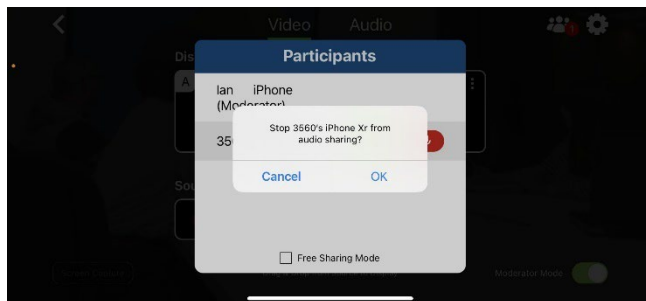
6. 参加者からビデオリクエストが送信されると、以下のメッセージが表示されます。ビデオコンテンツを表示する場合は、「OK」をクリックします。ビデオコンテンツの表示を却下する場合は、「キャンセル」をクリックします。



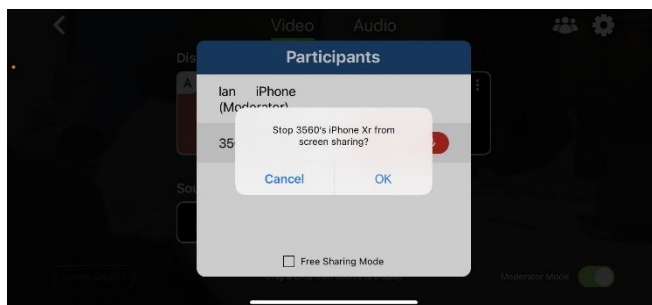
7. 1人の参加者からビデオとオーディオコンテンツが共有されている場合、参加者リストは次のようになります。



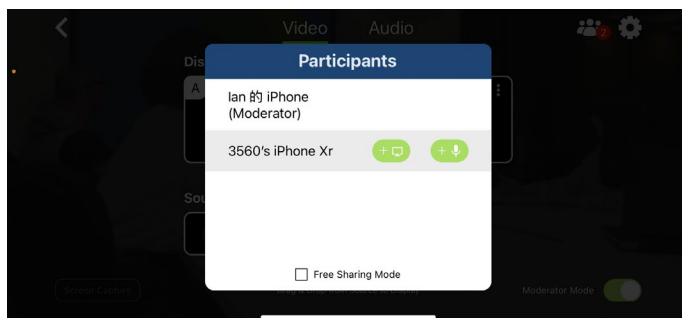
8. 参加者からのオーディオ共有を停止するには、 をタップします。以下のメッセージが表示されたら、「OK」をタップします。



9. 参加者からのビデオ共有を停止するには、 をタップします。以下のメッセージが表示されたら、「OK」をタップします。

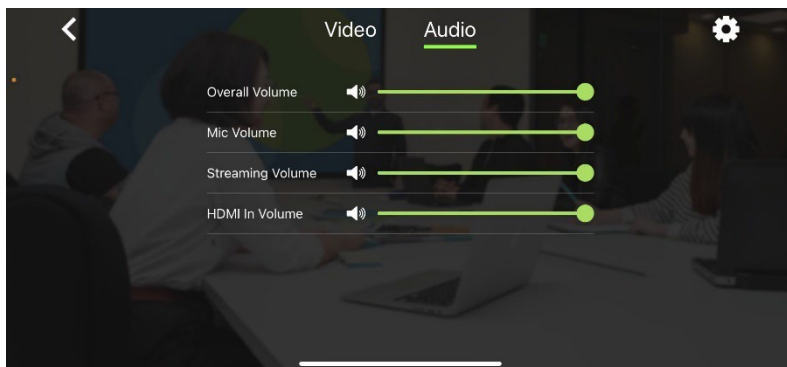


10. 1人の参加者からのビデオとオーディオのコンテンツを共有停止すると、参加者リストは次のようになります。



ツール	説明
	参加者のオーディオコンテンツが共有されています。このアイコンをクリックすると、オーディオ共有を無効にします。
	参加者のビデオコンテンツが共有されています。このアイコンをクリックすると、ビデオ共有を無効にします。
	参加者のオーディオコンテンツの共有を停止しています。このアイコンをクリックすると、オーディオ共有を有効にします。
	参加者のビデオコンテンツの共有を停止しています。このアイコンをクリックすると、ビデオ共有を有効にします。

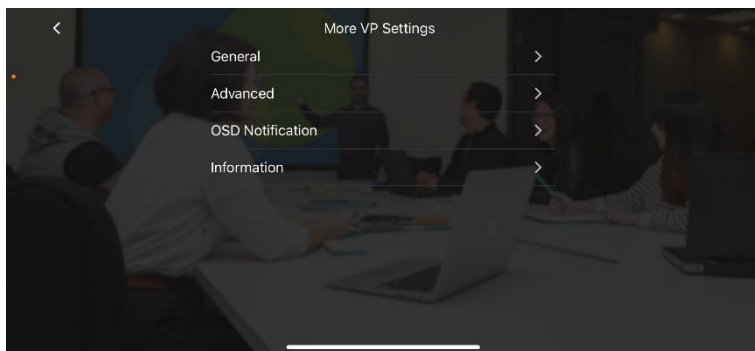
オーディオパネル



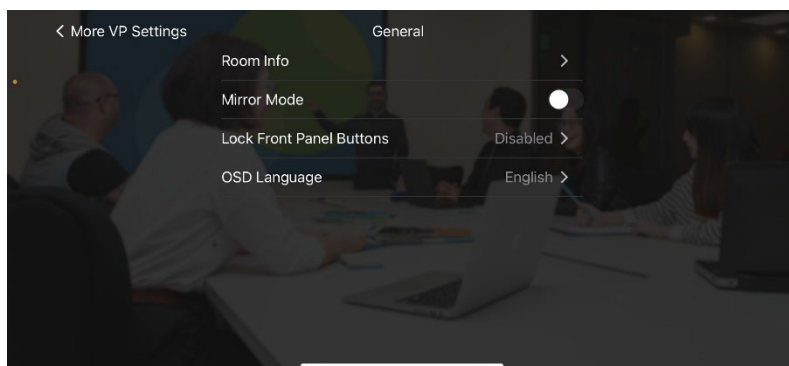
システム設定			説明
注意:太字で表記されているのはデフォルト設定です。			
オーディオ	全体ボリューム	• 増加(+) • 減少(-) • ミュート	VP2120に接続されたスピーカーの音量を設定します。  をタップすると、ミュートにします。
	マイク音量	• 増加(+) • 減少(-) • ミュート	VP2120に接続されたマイクの音量を設定します。  をタップすると、ミュートにします。
	ストリーミング音量	• 増加(+) • 減少(-) • ミュート	ストリーミング入力ソースの音量を設定します。  をタップすると、ミュートにします。
	HDMI入力音量	• 増加(+) • 減少(-) • ミュート	接続されたソースの音量を設定します。  をタップすると、ミュートにします。

VPの詳細設定

VP2120の詳細設定を行うには、スマートフォンの画面から「**VPの詳細設定**」ボタン () をタップします。そうすると、以下のような画面が表示されます。

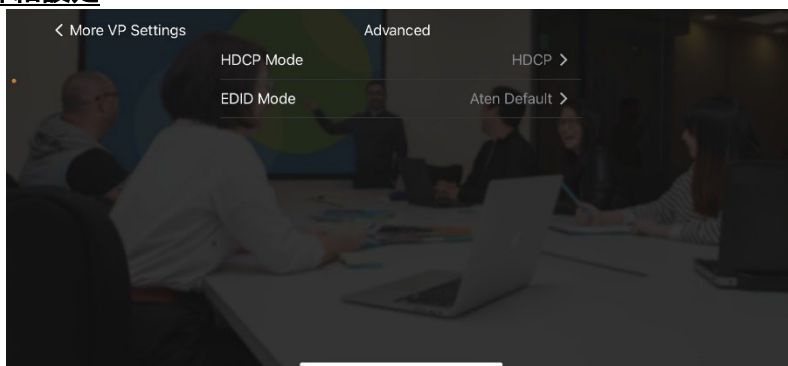


全般



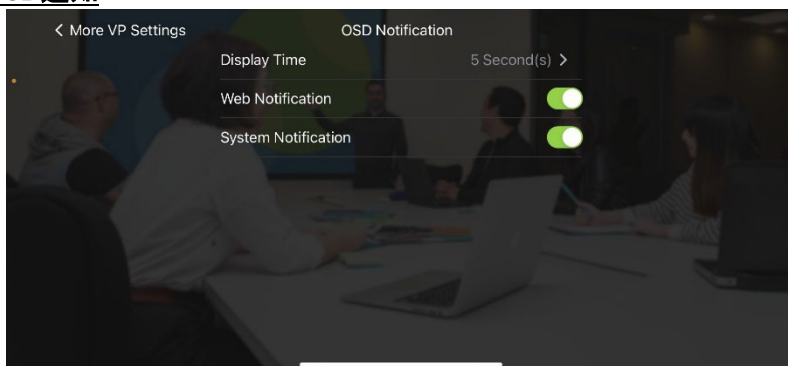
システム設定			説明
注意:太字で表記されているのはデフォルト設定です。			
全般	部屋コード	• 無効 • コードを更新	有効になっていると、会議に参加するための部屋コードを生成します。
	ミラーモード	• 有効 • 無効	2台のディスプレイを接続すると、同じ映像を分配します。個別に設定を変更することはできません。チェックボックスを有効にすると、常にディスプレイAの設定が基準となり、自動でディスプレイBに適用されます。
	フロントパネルボタンのロック	• 無効 • 5秒後 • 30秒後 • 5分後	メニュー画面が無操作状態のまま、ここで指定した時間が経過すると、フロントパネルのプッシュボタンが自動的にロックされます。
	OSD言語		メニュー画面の表示言語を設定します。

詳細設定



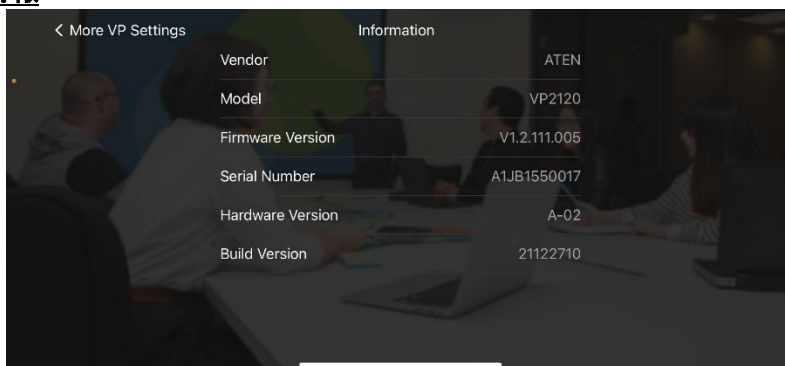
システム設定			説明
注意:太字で表記されているのはデフォルト設定です。			
詳細設定	HDCPモード	- HDCPなし HDCP	この機能を有効にすると、HDCP（著作権保護機能）が動作し、オーディオおよびビデオの不正コピーを防止します。
	EDIDモード	ATENデフォルト - ディスプレイA	ATENデフォルト:このモードでは、接続されたソースにATENプリセットのEDIDが送信されます。 ディスプレイA:接続されたソースにディスプレイAのEDIDを送信するモードです。

OSD通知



システム設定			説明
注意:太字で表記されているのはデフォルト設定です。			
OSD通知	時刻の表示	3秒 5秒 10秒 - 無効	メニュー画面で通知メッセージの表示時間を設定できます。また、この機能を無効にすることもできます。
	ウェブ通知	- 無効 有効	
	システム通知	- 無効 有効	

情報



システム設定		説明
注意:太字で表記されているのはデフォルト設定です。		
情報	ベンダー、ファームウェアバージョン、 シリアル番号、ハードウェアバージョン、ビルドバージョン	システム情報を表示します。

安全にお使いいただくために

全般

- 本製品は屋内専用です。
- 製品パッケージに同梱されているすべてのドキュメントをお読みください。ドキュメントは後で参照できるよう保管してください。
- デバイスに表示されている警告や指示に従ってください。
- 不安定な場所(カート、簡易スタンド、テーブルなど)に置かないでください。落下すると深刻な損傷の原因になります。
- 水や湿気が多くある場所の近くで使用しないでください。
- 冷却装置や加熱機器の近く、またはその上に置かないでください。
- 排熱機構のない場所に設置しないでください。特に組み込みエンクロージャー内での使用は避けてください。
- 液体をこぼさないでください。
- お手入れの際は必ず電源プラグを抜いてください。液体やスプレー式のクリーナーは使用せず、湿らせて固く絞った布で拭いてください。
- マーキングラベルに記載された電源タイプで使用してください。不明な場合は販売店または電力会社に確認してください。
- システム損傷を防ぐため、必ず接地してください。
- 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。踏んだり、つまずいたりしないよう配線してください。
- 映像・ネットワーク・電源ケーブルは丁寧に扱い、上に物を置かないでください。
- 本体の端子に異物を差し込まないでください。感電・ショート・火災の原因になります。
- 修理はご自身で行わず、不明点は技術サポートにご相談ください。保守は有資格の担当者に依頼してください。

- 次のような場合は、すぐに電源プラグを抜き、技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードやプラグが損傷または摩耗している。
 - デバイスに液体をこぼした。
 - デバイスが雨や水などに濡れた。
 - デバイスを落下させた、またはキャビネットが破損した。
 - 数年正常に動作していたデバイスの動作にて異常が見られる。
 - 複数ある同じ機器でも特定の個体だけが正常に動作しない。
- マニュアルに記載されていない操作や調整を行うと、重大な故障や専門技術者による大規模な修理が必要になる場合があります。

ラックへのマウント

- 作業を行う前に、スタビライザーがラックと床に固定され、重心が安定していることを確認してください。
- 機器は必ず下から上に向かって搭載し、最も重い機器を下に設置してください。
- 機器増設作業の前に、ラックが水平で安定していることを確認してください。
- 電源が過負荷にならないよう注意してください。ラック全体の電源負荷は最大でも80%を超えないように設定してください。
- ラックに搭載したデバイスや電源タップは、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ラック内の排熱と通気が十分に確保されるよう設置してください。
- 本製品で定められた保管温度範囲内で使用できるよう、設置場所の室温を調整してください。
- 動作中のデバイスに乗ったり踏んだりしないでください。

技術サポート

インターナショナル

- オンラインでの技術サポート(トラブルシューティング、マニュアル、およびソフトウェアアップデートを含む)の場合 : <http://support.aten.com>
- 電話によるサポートは、次の番号までお問い合わせください。

インターナショナル	886-2-8692-6959
中国	86-400-810-0-810
日本	81-3-5615-5811
韓国	82-2-467-6789
北米	1-888-999-ATEN ext 4988
	1-949-428-1111

北米

Eメールサポート		support@aten-usa.com
オンラインテクニカルサポート	ドキュメント	http://www.aten-usa.com/support
	ソフトウェア更新 トラブルシューティング	
電話によるサポート		1-888-999-ATEN ext 4988

お問い合わせいただく際には、あらかじめ以下の情報をご用意ください。

- 製品型番、シリアル番号、購入日
- OS、リビジョン・レベル、拡張カード、およびソフトウェアを含むコンピューター構成
- エラー発生時に表示されるエラーメッセージ
- エラーに至るまでの操作の順序
- 他にも役立つと思われる情報

製品仕様

機能	VP2120
ビデオ入力	
インターフェース	HDMI Type-A メス × 1 (Black)
ビデオ出力	
インターフェース	HDMI Type-A メス × 2 (Black)
最大距離	HDMI: 最大 15m
ビデオ	
最大解像度	HDMI: 最大 1080p @ 60Hz
規格準拠	HDMI: HDCP 1.4準拠、CEC対応
オーディオ	
入力	マイク: ステレオミニジャック メス × 1 (Pink)
出力	ステレオオーディオ: ステレオミニジャック メス × 1 (Green)
コネクター	
コンソールポート	USB 3.0: USB Type-A メス × 1 (Blue)
電源	DC電源ジャック × 1 (Black)
制御	
屈折率	ステレオミニジャック メス × 1 (Black)
イーサネット	RJ-45 メス × 1 (Silver)
スイッチ	
電源	プッシュボタン × 1 (LED: Green)
選択	部屋情報: プッシュボタン × 1 メニュー: プッシュボタン × 1 Left: プッシュボタン × 1 Right: プッシュボタン × 1 Down: プッシュボタン × 1 Up/Unlock: プッシュボタン × 1 Volume: ツマミ × 1 Enter: プッシュボタン × 1 Esc: プッシュボタン × 1
EDID 設定	EDIDモード: ATENデフォルト / ディスプレイA

機能	VP2120
電源	
消費電力	DC12V:14.46W:87BTU
動作環境	
動作温度	0～40℃
保管温度	-20～60℃
湿度	0～80%RH、結露なきこと
ケース	
ケース材料	メタル
重量	1.14kg(2.51lb)
サイズ(W×D×H)	20.00×16.92×4.40cm(7.87×6.66×1.73インチ)

© 著作権2022ATEN®International Co., Ltd.

リリース:2022-08-05

ATENおよびATENロゴは、ATEN International Co., Ltd.の登録商標です。無断転載を禁じます。その他すべてのブランド名および商標は、それぞれの所有者の登録商標です。